

2011・2013年度 埋蔵文化財発掘調査報告書

川合遺跡大西地区第2次

栗井北山地区試掘

大輪田・城内遺跡第2次

高山3号墳(高山塚3号古墳)第2次

例 言

1. 本書は平成23(2011)年度及び平成25(2013)年度に河合町教育委員会が国庫補助金・県費補助金を受けて実施した川合遺跡大西地区、薬井北山地区試掘、大輪田・城内遺跡、高山3号墳(高山塚3号古墳)の発掘調査報告書である。
2. 川合遺跡大西地区の現地調査は平成24年2月13日に開始し、平成24年2月16日に終了した。
薬井北山地区試掘調査の現地調査は平成24年2月13日に開始し、平成24年3月14日に終了した。
大輪田・城内遺跡の現地調査は平成25年8月5日に開始し、平成25年10月9日に終了した。
高山3号墳(高山塚3号古墳)の現地調査は平成25年10月28日に開始し、平成25年11月14日に終了した。
3. 調査組織は次のとおりである。

調査主体	河合町教育委員会
調査担当者	河合町教育委員会事務局 教育部生涯学習課 吉村公男
調査補助員	石松智子
調査事務局	河合町教育委員会事務局, 教育部生涯学習課 生涯学習係(文化財担当)

平成23年度

教育長・藤岡和成 教育次長・井筒匠 課長・木村光弘(～6/30) 上村欣也(7/1～)
課長補佐・西浦清繁 調整員・吉村公男 主査・吉川勝広

平成25年度

教育長・竹林信也 教育部長・井筒匠 課長・上村欣也 課長補佐・吉村公男
係長・山口登美子 主査・吉川勝広 臨時職員・浅川早紀、石松智子
4. 川合遺跡大西地区及び薬井北山地区の発掘作業は株式会社アートに委託した。また、薬井北山地区の測量は株式会社シードコンサルタントに委託した。
大輪田・城内遺跡及び高山3号墳(高山塚3号古墳)の発掘作業は安西工業株式会社に委託した。
5. 写真は吉村が撮影した。
6. 本書を作成するにあたり下記の諸機関並びに諸氏のご指導・ご協力いただいた。ここに記して謝意を表する。
奈良県教育委員会、奈良県立橿原考古学研究所、奈良県内市町村埋蔵文化財担当者連絡協議会、学校法人西大和学園、吉田栄治郎、辰巳和弘、弓戸猛、辻井賢治、岡田伊平、米山美、森川勲、元田親房、田野瀬太樹、安楽寺、白田淳三、稲葉清、植田正廣、江崎正治、植田和男、山本八重子、佐藤良二、加藤一郎、和田一之輔 (敬称略、順不同)
7. 図2は国土地理院発行の1:25,000地形図「信貴山」(平成13年7月1日発行)及び「大和高田」(平成14年4月1日発行)をもとに作成した。図3・6・10・16は河合町発行の1:2,500河合町全図1・3(平成16年3月 修正版)をもとに作成した。
8. 土層の土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖22版』に拠った。
9. 発掘調査により出土した遺物、及び図面・写真等の記録類の全ては河合町教育委員会で保管している。
10. 遺物の整理及び本書の作成は吉村、石松が行った。
11. 本書の執筆・編集は吉村が行った。

本文目次

1. 2011・2013年度の埋蔵文化財発掘調査について	1
2. 川合遺跡地区の調査	
(1) はじめに	2
(2) 遺構	2
(3) 遺物	2
(4) まとめ	2
3. 薬井地区試掘調査	
(1) はじめに	4
(2) 遺構	4
(3) 遺物	8
(4) まとめ	8
4. 大輪田・城内遺跡第2次調査	
(1) はじめに	9
(2) 遺構	9
(3) 遺物	13
(4) まとめ	13
5. 高山3号墳(高山塚3号古墳)第2次調査	
(1) はじめに	15
(2) 遺構	15
(3) 遺物	17
(4) まとめ	17

挿図目次

図1	河合町の位置	1
図2	2011・2013年度調査地位位置図	1
図3	川合遺跡大西地区調査地位位置図	2
図4	川合遺跡大西地区調査トレンチ平面図及び土層断面図	3
図5	川合遺跡大西地区出土遺物	3
図6	薬井北山地区調査地位位置図	4
図7	薬井北山地区調査トレンチ配置図	4
図8	薬井北山地区調査トレンチ平面図及び土層断面図(1)	5~6
図9	薬井北山地区調査トレンチ平面図及び土層断面図(2)	7
図10	薬井北山地区出土遺物	8
図11	大輪田・城内遺跡調査地位位置図	9
図12	大輪田・城内遺跡調査トレンチ配置図	10
図13	大輪田・城内遺跡調査トレンチ平面図及び土層断面図	11
図14	大輪田・城内遺跡出土遺物(1)	12
図15	大輪田・城内遺跡出土遺物(2)	13
図16	高山3号墳調査地位位置図	15
図17	高山3号墳墳丘測量図及び調査トレンチ配置図	15
図18	高山3号墳調査トレンチ平面図及び土層断面図	16
図19	高山3号墳出土・採集遺物(1)	18
図20	高山3号墳出土・採集遺物(2)	19
図21	高山3号墳出土・採集遺物(3)	20
図22	大塚山古墳群出土・採集遺物(1)	21
図23	大塚山古墳群出土・採集遺物(2)	22
図24	大塚山古墳群出土・採集遺物(3)	23
図25	大塚山古墳群出土・採集遺物(4)	24
図26	大塚山古墳群出土・採集遺物(5)	25
図27	大塚山古墳群出土・採集遺物(6)	26

表目次

表1	川合遺跡大西地区 掲載遺物一覧	3
表2	薬井北山地区 掲載遺物一覧	8
表3	大輪田・城内遺跡 掲載遺物一覧	14
表4	高山3号墳 掲載遺物一覧	27~30

写真図版目次

カラー写真図版1 ①高山3号墳(手前)と高山2号墳(左奥)・中良塚古墳(右奥)

②高山3号墳と大塚山古墳(左奥)

カラー写真図版2 赤色顔料の残る大塚山古墳群出土・採集埴輪

写真図版1 川合遺跡大西地区 ①調査前(東から)

②掘削状況(東から)

写真図版2 川合遺跡大西地区 ①掘削状況(西から)

②出土遺物

写真図版3 栗井北山地区 ①調査前(東から)

②第6トレンチ付近調査前(東から)

③第1トレンチ調査前(東から)

写真図版4 栗井北山地区 ①第1トレンチ(西から)

②第2トレンチ(西から)

③第3トレンチ(南から)

写真図版5 栗井北山地区 ①第4トレンチ(北から)

②第5トレンチ(北から)

③第6トレンチ(東から)

写真図版6 栗井北山地区 ①第7トレンチ(西から)

②第7トレンチ須恵器出土状況(西から)

③第7トレンチ拡張後(南から)

写真図版7 栗井北山地区 ①第8トレンチ(南から)

②第9トレンチ(西から)

③出土遺物

写真図版8 大輪田・城内遺跡 ①調査前(北から)

②第1トレンチ調査前(北東から)

③第1トレンチ表土除去後(北東から)

写真図版9 大輪田・城内遺跡 ①第1トレンチ掘り下げ状況(北から)

②第2トレンチ掘り下げ状況(東から)

③建物撤去後(北から)

写真図版10 大輪田・城内遺跡 ①建物撤去後の基壇(北東から)

②第3トレンチ・第4トレンチ(東から)

③第3トレンチ・第4トレンチ(北から)

写真図版11 大輪田・城内遺跡 ①第3トレンチ1区 土壌(西から)

②第3トレンチ・第4トレンチ(北から)

写真図版12 大輪田・城内遺跡 ①第3トレンチ1区 礎石1 据え付け痕(西から)

②第4トレンチ1区 盛土状況

③第4トレンチ2区(北東から)

写真図版13 大輪田・城内遺跡 ①第4トレンチ2区 礎石列(東から)

②第4トレンチ2区 礎石2(南から)

③第4トレンチ2区 礎石2(北から)

写真図版14 大輪田・城内遺跡 ①第4トレンチ2区 礎石3(北から)

②第4トレンチ2区 礎石4(北から)

③第4トレンチ2区 礎石4 据え付け痕跡検出状況

写真図版 15	大輪田・城内遺跡	①第4トレンチ2区 礎石4 (北から) ②第4トレンチ2区 礎石4 礎除去後 (北から) ③第4トレンチ2区 礎石4 礎除去後 (南から)
写真図版 16	大輪田・城内遺跡	出土遺物 (1)
写真図版 17	大輪田・城内遺跡	出土遺物 (2)
写真図版 18	高山3号墳	①高山3号墳と周辺の古墳 (西から) ②高山2号墳 (左) と高山3号墳 (中央) (北から) ③調査前 (北から)
写真図版 19	高山3号墳	①完掘状況 (北から) ②第1トレンチ (北西から) ③第1トレンチ拡張区 (西から)
写真図版 20	高山3号墳	①第1トレンチ (北から) ②第2トレンチ (北から) ③第2トレンチ (南・墳丘から)
写真図版 21	高山3号墳	出土・採集遺物 (1)
写真図版 22	高山3号墳	出土・採集遺物 (2)
写真図版 23	高山3号墳	出土・採集遺物 (3)
写真図版 24	高山3号墳	大塚山古墳群出土・採集遺物 (1)
写真図版 25	高山3号墳	大塚山古墳群出土・採集遺物 (2)
写真図版 26	高山3号墳	大塚山古墳群出土・採集遺物 (3)
写真図版 27	高山3号墳	大塚山古墳群出土・採集遺物 (4)
写真図版 28	高山3号墳	大塚山古墳群出土・採集遺物 (5)
写真図版 29	高山3号墳	大塚山古墳群出土・採集遺物 (6)
写真図版 30	高山3号墳	大塚山古墳群出土・採集遺物 (7)

1. 2011・2013年度の埋蔵文化財発掘調査について

2011（平成23）年度には川合遺跡小字大西地区および薬井小字北山地区における調査を実施した。現地調査が年度末に及んだことから、報告書作成に至らなかった。

2013（平成25）年度は2件の発掘調査を実施した。大輪田・城内遺跡第2次調査、及び高山3号墳第2次調査である。大輪田・城内遺跡の調査は、2007（平成19）年度の調査を第1次調査とし、今回の調査を第2次調査とした。また、高山3号墳の調査は1991（平成3）年度の調査を第1次調査とし、今回の調査を第2次調査とした。

本報告書に掲載した4件の調査は全て開発に伴う緊急発掘である。4件中の2件は個人住宅建設に伴う調査であり、調査面積も狭小なものであったが、それぞれの調査で各遺跡における新知見を得ることができた。



図1 河合町の位置



1 薬井北山地区 2 大輪田・城内遺跡 3 高山3号墳 4 川合遺跡大西地区

図2 2011・2013年度調査地位置図

2. 川合遺跡大西地区の調査

(1) はじめに

今回の調査地は、『奈良県遺跡地図』に「10B-20」と記載されている遺物散布地の範囲内に位置する。当該地において専用住宅の建て替えが計画され、建築面積の5%を超える柱状改良（深さ3m）を伴うため、工事に先立つ調査として発掘調査を実施した。狭小な面積であり、微細な遺物の採集も考慮し、全て人力により作業を行った。断り割りにより深さ120cmまでの状況を確認したが、地盤が軟弱であることや、天候の影響を考慮し、地山までの掘削を行わなかった。調査終了後、工事着工までの安全を考慮し埋め戻した。

ところで、平成18年度に今回の調査地の南60mの地点で専用住宅建設に伴う発掘調査を実施し、川合大西遺跡として報告している^{註1}。この城山古墳を中心に広がる遺物散布地の範囲、内容はまだ明らかになっていない。市場地区及び城占地区にまたがることから遺跡名としては「川合遺跡」あるいは「川合遺跡群」とすべきであろう。今後の周辺地域での発掘調査の進展に伴い、各調査地での遺跡の内容が明らかにされ、それぞれの調査地間のつながりが明確になるまでの仮称として、「川合遺跡〇〇地区」という呼称を用いることとする。

註1) 『2005・2006・2007年度埋蔵文化財発掘調査報告書-河合町文化財調査報告書 第20集-』2008年 河合町教育委員会

(2) 遺構

今回の調査では明確な遺構は検出していない。既存建物に伴う整地層(2層-3層)は地表面からの攪乱が著しく、東側では旧耕作土(6層)の下の層位にまで及んでいる。6層の下層はさらに古い耕作土層(7層)であり、須恵器、埴輪、瓦器、羽釜等の遺物を含む包含層となっている。

(3) 遺物

遺物包含層中から石包丁と思われる石器が出土した。河合町内では舟戸・西園遺跡で古くから石包丁が採集されているといわれているが、町教育委員会による発掘調査に伴って出土したのは今回が初めてである。後世に転用され、小孔が2か所に開けられている。一方は穿孔時もしくは穿孔後に割れてしまったようである。用途は不明である。

(4) まとめ

調査区の中央より西側で水田耕作土層を確認した。調査地の東側道路が古くからの道であり、西側を通り御幸橋を経て斑鳩町城に至る県道は近代に整備された道路であるが、昭和39年当時も調査地と県道の間は水田として利用されていた。調査地の半ばから東は一段高くなり、古くからの道に接する部分が宅地や畑として利用されていたものと考えられる。

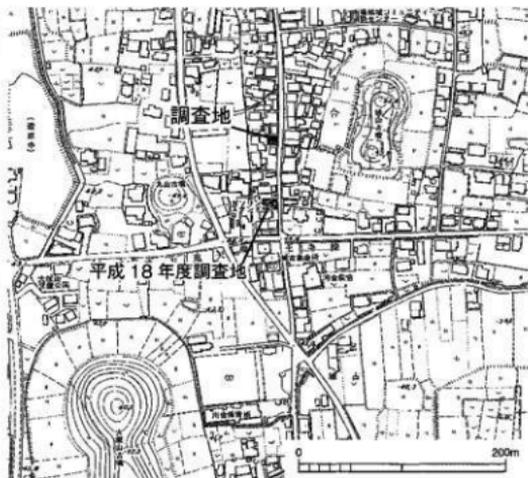
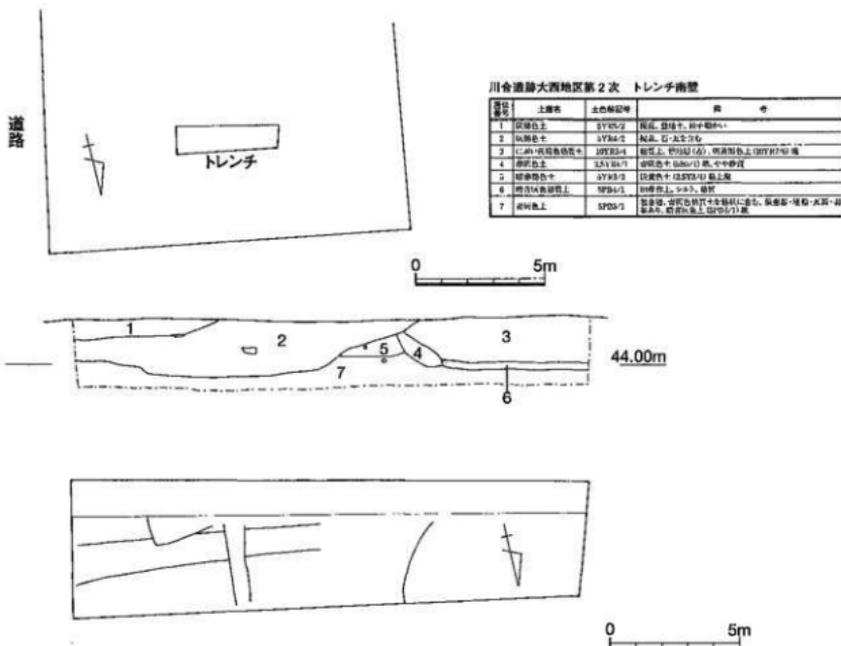


図3 川合遺跡大西地区調査地位置図



川合遺跡大西地区第2次 トレンチ南壁

層位	土層名	土色編記号	特 徴
1	灰褐色土	GYR3-2	焼土、団粒多、粘土層が多い
2	灰褐色土	GYR4-2	焼土、団粒多、粘土層が多い
3	二色相混成層状土	GYR5-4	焼土と、砂質土(赤)の混成層状土(GYR5-2)が層
4	赤褐色土	SYR1-1	赤褐色土(位)GYR(1) 焼土中砂質
5	暗赤褐色土	GYR3-1	暗赤褐色土(位)GYR(1) 粘土層
6	褐色(灰)砂質土	SPR1-1	砂質土上、砂質土、砂質
7	灰褐色土	SPR2-1	砂質土、砂質土(位)GYR(1) 粘土層、砂質土、砂質土、砂質土

図4 川合遺跡大西地区調査トレンチ平面図及び土層断面図

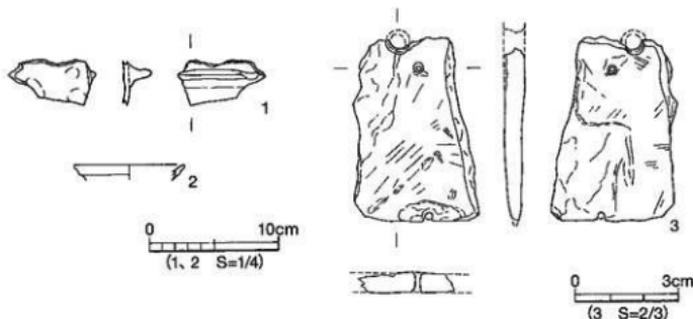


図5 川合遺跡大西地区出土遺物

発掘番号	図版番号	遺物名	特 徴	遺物台帳ラベル番号
5-1	2-1	土師器 羽釜	【法量】残存高: 3.5cm 【色調】外面: 灰白(GYR3/2)・黒黒(10YR3/2)、内面: 黄橙(10YK7/2) 【胎土】赤、径1mm以下の石英・炭石・黒色砂粒を少量含む 【地味】良好 【調整】ナテ	KON②-4
5-2	2-2	土師器 皿	【法量】残存高: 1.15cm 版元口径: 8.4cm 【色調】赤い黄橙(10YR7/3) 【胎土】赤、径1mm以下の石英・炭粒を少量含む 【地味】良好 【調整】ナテ	KUN②-2
5-3	2-3	石製品 石化丁製用品	【法量】3.65cm×5.35cm、厚さ0.6cm、重量17g 【材質種類】結晶片岩 割れた石包丁を転用し、2か所に小孔を穿っているが、一方の小孔部で穿孔時又は穿孔後に欠損している。	KON②-3

表1 川合遺跡大西地区 掲載遺物一覧

3. 薬井北山地区の試掘調査

(1) はじめに

当該調査は平成23年10月6日付けにて学校法人西大和学園より提出された遺跡有無確認踏査額に対し、平成23年10月24日付けにて奈良県教育委員会教育長より河合町教育委員会教育長宛に踏査の依頼があった。平成23年11月11日付けにて踏査の報告を行った。その結果、平成23年12月1日付けにて奈良県教育委員会教育長より申請者に対して試掘調査が必要である旨の通知をされたことにより、申請者と河合町教育委員会とで協議し、遺跡の有無を確認するために試掘調査を実施した。

調査は山林部を中心に9か所の調査区（トレンチ）を設定し、人力により掘削を行った。調査終了後、造成工事着工までの間の事故防止のためすべてのトレンチを埋め戻した。

(2) 遺構

今回の調査では明確な遺構は検出していない。

昭和34年の地形図を見ると、第1トレンチ西側の傾斜面より西は大きく削平されていることがわかる。第1トレンチを設定した平坦面についても昭和40年代の造成の切土による地形であることが推測されたが、本来の高さが不明であるため、調査に及んだ。第1・2・3・7トレンチでの調査の結果、踏査時に確認された上層状の地形については、地山を削り出したものであり、



図6 薬井北山地区調査地位置図

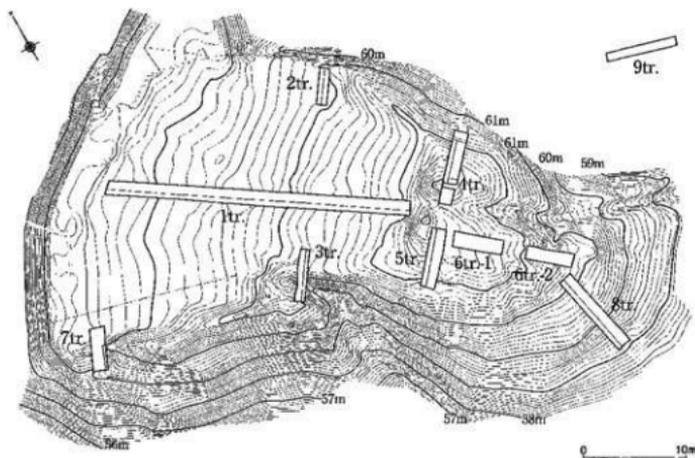
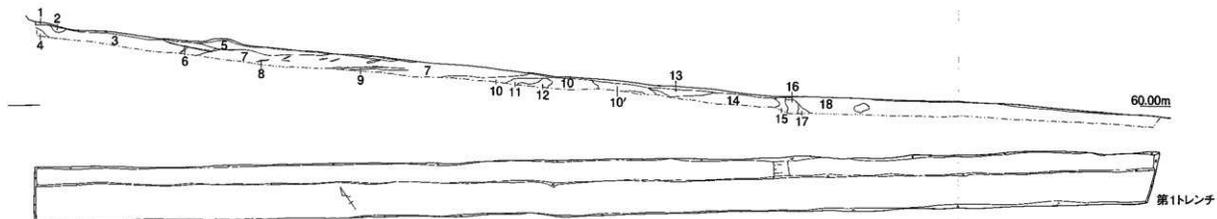
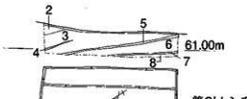


図7 薬井北山地区調査トレンチ配置図



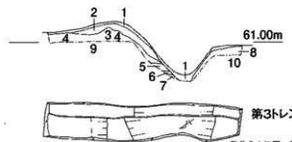
薬井北山地区 第1トレンチ縦断

層号	土層名	土層記号	概 要
1	埋戻土	S1001	表土
2	埋戻土	S1004	埋土
3	埋戻土	S1005	埋土
4	埋戻土	S1006	埋土
5	埋戻土	S1007	埋土
6	埋戻土	S1008	埋土
7	埋戻土	S1009	埋土
8	埋戻土	S1010	埋土
9	埋戻土	S1011	埋土
10	埋戻土	S1012	埋土
11	埋戻土	S1013	埋土
12	埋戻土	S1014	埋土
13	埋戻土	S1015	埋土
14	埋戻土	S1016	埋土
15	埋戻土	S1017	埋土
16	埋戻土	S1018	埋土
17	埋戻土	S1019	埋土
18	埋戻土	S1020	埋土



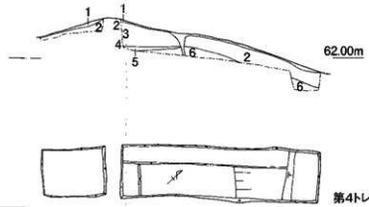
薬井北山地区 第2トレンチ縦断

層号	土層名	土層記号	概 要
1	埋戻土	S1021	表土
2	埋戻土	S1022	埋土
3	埋戻土	S1023	埋土
4	埋戻土	S1024	埋土
5	埋戻土	S1025	埋土
6	埋戻土	S1026	埋土
7	埋戻土	S1027	埋土
8	埋戻土	S1028	埋土



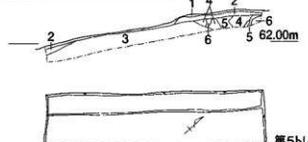
薬井北山地区 第3トレンチ縦断

層号	土層名	土層記号	概 要
1	埋戻土	S1029	表土
2	埋戻土	S1030	埋土
3	埋戻土	S1031	埋土
4	埋戻土	S1032	埋土
5	埋戻土	S1033	埋土
6	埋戻土	S1034	埋土
7	埋戻土	S1035	埋土
8	埋戻土	S1036	埋土
9	埋戻土	S1037	埋土
10	埋戻土	S1038	埋土



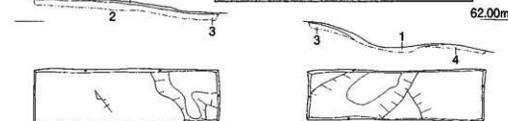
薬井北山地区 第4トレンチ縦断

層号	土層名	土層記号	概 要
1	埋戻土	S1039	表土
2	埋戻土	S1040	埋土
3	埋戻土	S1041	埋土
4	埋戻土	S1042	埋土
5	埋戻土	S1043	埋土
6	埋戻土	S1044	埋土



薬井北山地区 第5トレンチ縦断

層号	土層名	土層記号	概 要
1	埋戻土	S1045	表土
2	埋戻土	S1046	埋土
3	埋戻土	S1047	埋土
4	埋戻土	S1048	埋土
5	埋戻土	S1049	埋土
6	埋戻土	S1050	埋土



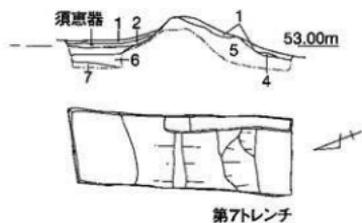
薬井北山地区 第6トレンチ1区

薬井北山地区 第6トレンチ2区

層号	土層名	土層記号	概 要
1	埋戻土	S1051	表土
2	埋戻土	S1052	埋土
3	埋戻土	S1053	埋土
4	埋戻土	S1054	埋土

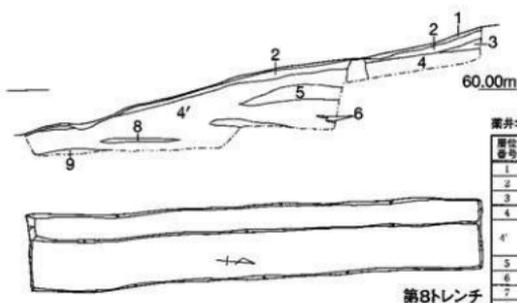


図8 薬井北山地区調査トレンチ平面図及び土層断面図 (1)



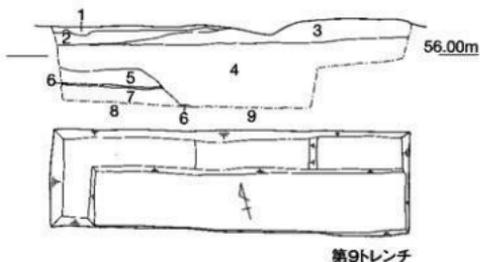
葉井北山地区 第7トレンチ東壁

層位番号	土層名	土色記号	備 考
1	黄褐色土	10YR3/1	灰土
2	灰褐色土	10YR7/8	やや細かい砂や、灰岩層出土
3	灰青褐色土	10YR6/6	やや細かい砂土
4			粘土
5	黄褐色土	10YR5/6	細かい砂を含む土
6	棕色土	7.5YR7/6	やや細かい砂
7	赤褐色土	7.5YR2/2	細かい砂の層が厚くなる



葉井北山地区 第8トレンチ西壁

層位番号	土層名	土色記号	備 考
1	黄褐色土	5YR3/1	灰土
2	灰褐色土	10YR5/4	細かい砂を含む粘質土、灰による変質
3	にぶい黄褐色粘質土	10YR7/4	粘質土
4	黄褐色粘質土	10YR6/6	粘質土、灰褐色粘土(5Y7/1)を含む
4'	灰褐色土 にぶい黄褐色土 棕色土	2.5Y6/2 10YR5/4 7.5YR6/6	きまごのように細かい粘質土、色調の境がはっきりしない
5	赤褐色土	10R4/4	赤褐色、鉄屑の層が入る
6	棕色土	7.5YR7/6	細かい砂
7	棕色土	7.5YR7/6	細かい砂
8			焼粘板
9	にぶい黄褐色土	5YR6/4	細かい砂
10	にぶい黄褐色土	2.5Y6/3	粘質土



葉井北山地区 第9トレンチ南壁

層位番号	土層名	土色記号	備 考
1	赤褐色土	2.5YR2/1	粘土
2	にぶい黄褐色土	10YR7/4	粘土、赤褐色土
3	灰青褐色土	10YR6/2	細かい土、棕色土
4	黄褐色土	7.5YR7/8	棕色粘土(2.5YR6/3)とオリーブ褐色粘土(5Y6/3)が混ざり、5層と境に異なる高さで、土層はよく層状で明確な砂・心を有し、下層はやや粘質
5	灰褐色土	10G5/1	粘土
6	棕色土	N2-0	黄褐色層
7	灰オリーブ褐色土	2.5GY4/1	やや砂質
8	灰オリーブ褐色土	5Y5/2	細かい粘土
9	灰褐色土	7.5YR7/8	粘土



図9 葉井北山地区トレンチ平面図及び土層断面図(2)

平坦面側及び斜面側に土塁状地形に付随するような溝状の遺構は確認されなかった。

第4・5・6・8トレンチの状況から、現尾根頂部の東側は過去の造成が及んでおらず原状をとどめているが、表土下はすぐ地山であり、遺構は検出されなかった。

東側平坦地の状況は第9トレンチにより確認した。この部分は丘陵上の造成によって出た土により谷を埋めたものとの推定を得たが、第9トレンチでも1m以上の盛土が確認されている。盛土(2層)の中には5~30cm程度の輝石安山岩等の石が含まれていた。3層は耕作土である。6層は植物の有機質層で、旧地形の地表面と考えられる。

(3) 遺物

第7トレンチの堆積土中から須恵器高坏1点が出土している。また、第3トレンチ付近の表土及び第9トレンチの盛土内から瓦、陶磁器が出土している。1はトレンチ設定のために第1トレンチ付近の清掃に伴い表土中より出土したものである。土師器の坏の口縁と考えられる。2は第7トレンチの北側部分の造成後に堆積した土中から出土したものである。トレンチ中央部の土手上に残された部分から転落したものと考えられる。須恵器高坏の破片で、坏部と脚部の接合部である。古墳時代の須恵器の中でも比較的古い時期のものとも考えられていよう。

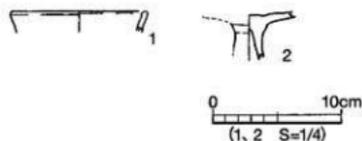


図10 葉井北山地区出土遺物

発掘番号	図原番号	遺物名	特徴	出土位置	遺物台帳ラベル番号
10-1	7-1	土師器 坏?	【法量】残存高:1.6cm 底径11径:10.4cm 【色調】にぶい橙(75YR7/4) 【胎土】赤、径1cm以下の灰石、雲母を少量含む	表土	KKS-2
10-2	7-2	須恵器 高坏	【法量】残存高37cm 脚部基部直径29cm 【色調】外面灰赤(XS-0)、断面赤灰赤(7.5S5/1) 【胎土】赤、径0.5mm以下の灰石・雲母を微かに含む 【焼成】良好	第7トレンチ2層	KKS-4

表2 葉井北山地区 掲載遺物一覧

(4) まとめ

調査地の最高所の西側平坦面の北・東・南側を圍繞するように見られた土塁状の地形は、当該地の山林部が過去に造成された時に形成されたものである。切土を行う際に雨水による土砂の流出を防ぐ目的で周囲を高く残したものと考えられる。第1トレンチ西側では切土の後、若干の盛土を施して、平坦面の整地と西側法面の成形を行ったようである。山林部東側については原状をとどめているが、遺構は全く認められなかった。事業地の東部平坦部は周辺の造成時に切土された土砂を用いて1m以上の盛土を行っている。

第7トレンチの平坦面側堆積土から須恵器高坏が出土したこと、第9トレンチの盛土内から安山岩等の石材が出土していることから、調査地を含む地域に古墳が存在した可能性は高い。しかしながら、過去の開発、造成に伴い既に消滅していると考えざるを得ない。調査地周辺にある古墳としては、北側の白鳳女子短期大学の構内にある岩才池北古墳や葛下川を挟んで西側に位置する達磨寺古墳群、北東側の舟戸山の丘陵上に円墳と考えられるものが知られている。しかし、かつては岩才池北古墳の周辺に5、6基の小円墳があり、小石室を有し、勾玉や金環等が出土したとされている^{註2}。

第9トレンチでの土層の観察と地元の方々からご教示頂いた状況を勘案すると、東側低地部分については大きく盛土されていることが明らかであり、遺構が存在するとしても、今回の確認調査の契機となったグラウンド造成による工事が遺構面まで及ぶものではない。

以上、今回の調査の結果から、当該事業計画地における本発掘調査は必要ではないと判断し調査を終了した。

註2) 樋口清之「大和の先史原史時代と王寺平野」(保井秀太郎編「大和王寺文化史論」)1937年 大和史学会

4. 大輪田・城内遺跡第2次調査

(1) はじめに

当該調査は平成25年度に安楽寺本堂・庫裏建て替えに伴い実施した大輪田・城内遺跡における調査である。既存建物の取り壊しの前後に発掘調査を実施したため調査期間が3月に亘っているが、実働は6日間である。前半の調査では解体前の本堂の東側と北側にトレンチを設定し、東側を第1トレンチ、北側を第2トレンチとした。本堂及び庫裏解体後には、本尊が安置されていた地点を中心に南北方向と東西方向に交差するトレンチを設定し、第3トレンチ及び第4トレンチとした。既存建物解体時には礎石も撤去されており、さらに基壇上面は整地が行われていたため、後半の調査では測量図を基に内陣の本尊安置位置が中心となるよう十字に交差するトレンチを設定し、南北方向を第3トレンチ1区、第4トレンチ1区とし、東西方向のトレンチを第3トレンチ2区、第4トレンチ2区とした。

調査トレンチは狭小な面積であり、微細な遺物の採集も考慮し、全て人力により作業を行った。調査終了後、埋め戻した。

(2) 遺構

本堂東側に設定した第1トレンチでは、整地層である1層、表上層の2層の下は橙色粘土の地山である。トレンチ南西隅部では土蔵を検出している。また、トレンチ中央部付近では遺物や炭を含む落ち込みを検出しているが、この落ち込みはごく最近まで草を燃やしたりしたものを埋めていたということであり、現代のものである。

第2トレンチでは本堂北側から建物を支える支柱を設置した後の整地の痕跡を確認したのみで、近世以前の遺構は認められなかった。

第3トレンチ1区で検出された礎石据え付け遺構(礎石1)は本堂の柱間間に合致しないものであり、安楽寺の前身であった中村道場に関連するものの可能性もある。



図11 大輪田・城内遺跡調査地位置図

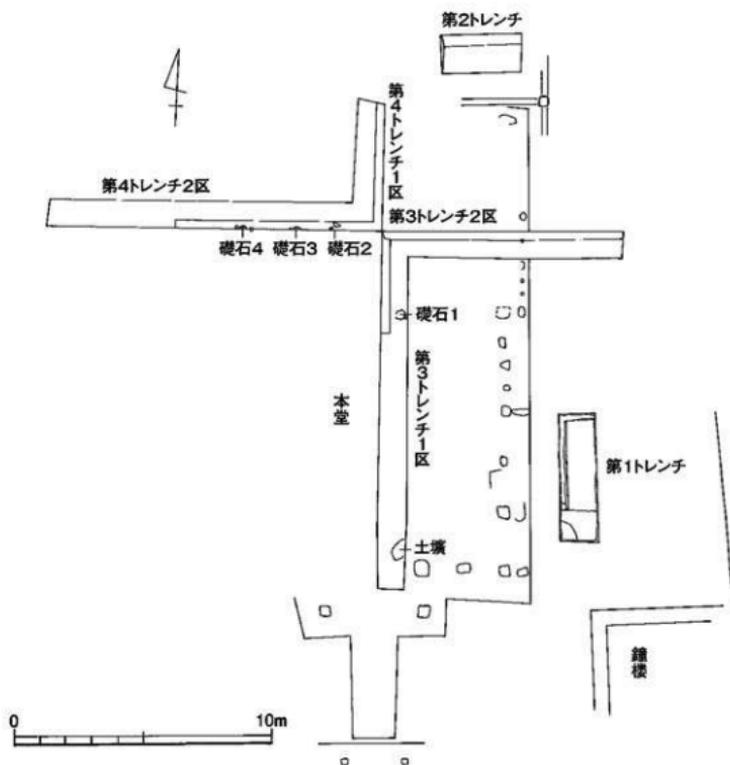


図12 大輪田・城内遺跡調査トレンチ配置図

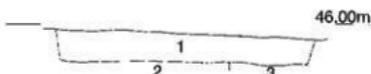
第3トレンチ2区では6層内で瓦器等の遺物が見られ、盛土であることがわかる。第3トレンチと第4トレンチの交点から6メートル東の地点で固く締まる8層が検出されているが、地山の範囲は判然としない。

第4トレンチ2区では3か所の礎石を確認した。礎石2、3は大きな石材ではなく、東柱の礎石かとみられる。礎石4は直接柱を載せていた礎石は解体時に失われており、下部構造としての長さ50cm幅40cmの火石及び礎石を安定させるための径10cm前後の礫が出土している。第4トレンチ2区の西側では調査時の地表面直下で地山が検出されており、礎石4の西側2m40cm地点より東の位置で30cm落ち込んでいることになるが、盛土の始まる位置は取り壊し時の攪乱により判然としない。礎石2・3・4はすべて盛土により造成された基壇上に据えられたものである。特に礎石4は盛土をしながら下の石を据え付け、この石の上面まで盛土を施した後、礫を放射状に並べて、上に乗せる礎石の安定を図っている。礫を並べた時点でさらに盛土を施し、礫の上面で水平面を造成し、これが基壇の上面となる。礫の範囲から考えると上部にあった礎石は直径40cm程度と考えられる。この礎石4は本堂内陣西側余間の最も西に位置する柱である。

第4トレンチ1区ではきめの細かい上や砂の層が重なり、南側が高く北側が低い傾斜となっている。このため、南から北に土を流すように盛土されたことがうかがえる。調査期間の都合により、狭い断ち割りでの確認である



第1トレンチ西壁



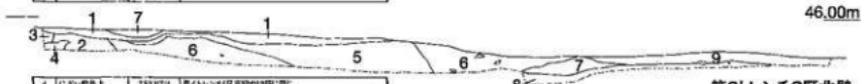
第2トレンチ北壁



第3トレンチ1区西壁

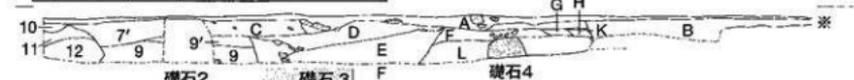
大輪田・城内遺跡第2次 第3トレンチ2区北壁

層位	土層名	土色・状態	備 考
1	表層土	30728-9	第4トレンチ区東壁の開口部
2	石灰土	30728-1	第4トレンチ区東壁の開口部
3	表層土	30728-1	



第3トレンチ2区北壁

層位	土層名	土色・状態	備 考
4	石灰土	73327-1	第1トレンチ区東壁の開口部
3	表層土	2337-1	埋土の開口部
2	石灰土	73327-1	埋土の開口部
1	表層土	30728-1	埋土の開口部



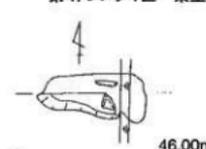
第4トレンチ1区東壁

層位	土層名	土色・状態	備 考
1	石灰土	30728-1	埋土の開口部
2	表層土	73327-1	埋土の開口部
3	石灰土	30728-1	埋土の開口部
4	表層土	30728-1	埋土の開口部
5	表層土	73328-9	埋土の開口部
6	表層土	73328-9	埋土の開口部
7	表層土	2337-1	埋土の開口部
8	表層土	73328-9	埋土の開口部
9	表層土	73328-9	埋土の開口部
10	表層土	73328-9	埋土の開口部
11	表層土	73328-9	埋土の開口部
12	表層土	73328-9	埋土の開口部
13	表層土	73328-9	埋土の開口部
14	表層土	73328-9	埋土の開口部
15	表層土	73328-9	埋土の開口部
16	表層土	73328-9	埋土の開口部

第4トレンチ2区 南壁



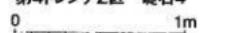
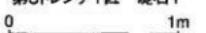
第4トレンチ1区 東壁



第3トレンチ1区 礎石1



第4トレンチ2区 礎石4



大輪田・城内遺跡第2次 第1トレンチ西壁

層位	土層名	土色・状態	備 考
1	埋土	30728-1	埋土の開口部
2	埋土	30728-1	埋土の開口部
3	埋土	30728-1	埋土の開口部
4	埋土	30728-1	埋土の開口部
5	埋土	30728-1	埋土の開口部
6	埋土	30728-1	埋土の開口部
7	埋土	30728-1	埋土の開口部
8	埋土	30728-1	埋土の開口部
9	埋土	30728-1	埋土の開口部
10	埋土	30728-1	埋土の開口部
11	埋土	30728-1	埋土の開口部

大輪田・城内遺跡第2次 第2トレンチ北壁

層位	土層名	土色・状態	備 考
1	埋土	30728-1	埋土の開口部
2	埋土	30728-1	埋土の開口部
3	埋土	30728-1	埋土の開口部

大輪田・城内遺跡第2次 第3トレンチ1区西壁

層位	土層名	土色・状態	備 考
1	埋土	30728-1	埋土の開口部
2	埋土	30728-1	埋土の開口部
3	埋土	30728-1	埋土の開口部
4	埋土	30728-1	埋土の開口部
5	埋土	30728-1	埋土の開口部
6	埋土	30728-1	埋土の開口部
7	埋土	30728-1	埋土の開口部

図13 大輪田・城内遺跡調査トレンチ平面図及び土層断面図

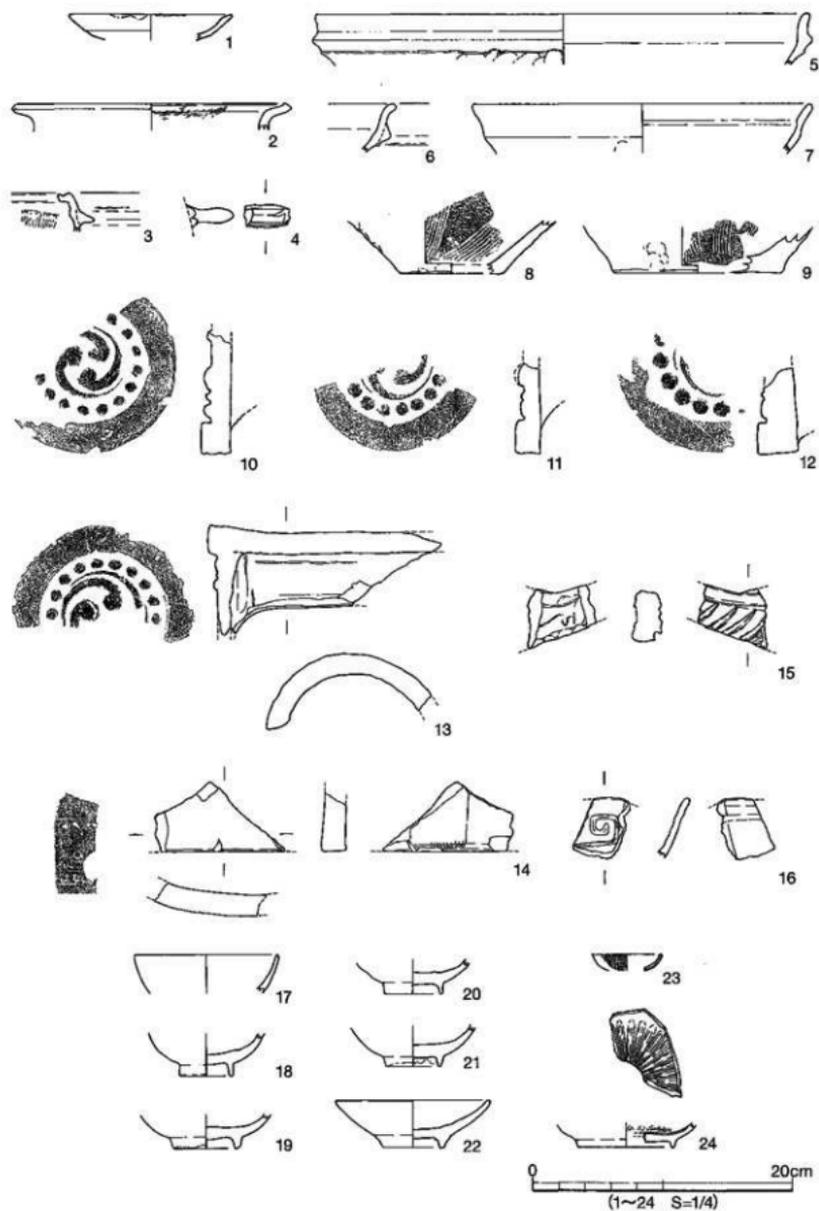


图 14 大輪田・城内遺跡出土遺物 (1)

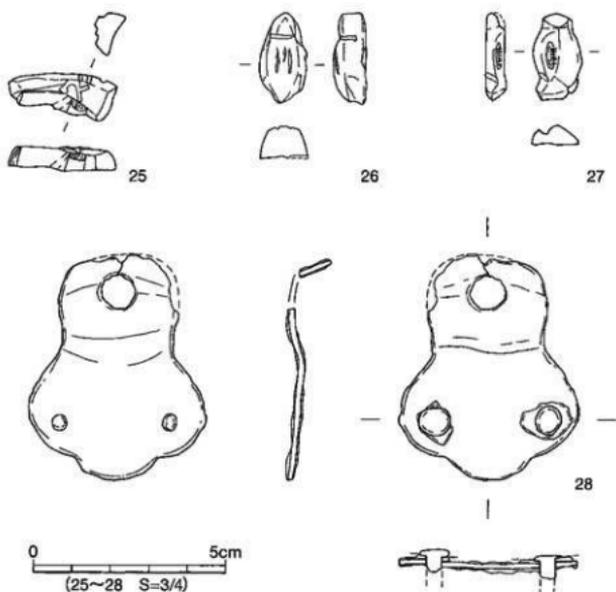


図 15 大輪田・城内遺跡出土遺物 (2)

ため調査途中で掘削を残念したが、最下層はさらに数十 cm は締まりのない盛土層が続くようである。調査中に各トレンチが水没するほどの一時的な豪雨があったが、雨が止んだ後、第4トレンチ1区のみすぐに雨水が地下にしみ込んでしまった。当該部分で観察された土はすべて盛土である。

以上の各トレンチの状況から、第3トレンチと第4トレンチの交点より北側は盛土により造成されていることがわかる。

(3) 遺物

主な遺物として近世の瓦・陶磁器が出土している。少量ながら土師器・瓦器の破片も出土している。

28は鉄製の釣り金具で、建物取り壊し後の基壇上で採集したものである。有機質のものに鉄留めしていたものと考えられる。上部の孔は棒状のものに引っ掛ける孔であろう。

17～21はくらわんか手の磁器碗で安楽寺建立時期以降のものである。

(4) まとめ

今回の調査では大輪田城に伴う遺構は検出されなかった。調査地西側の現状の地形から推測すると、現在の安楽寺の造営時に尾根頂部を大きく切土して建設地を造成したようである。この造成時に先行する遺構は削平されているものと考えられる。このため、大輪田城に関連する明確な遺構は検出できなかったが、出土遺物から中世以前の遺構が存在していたことが伺える。本堂は享永6年(1709)に建立されたもので、地山を整形して造られた基壇上に前身建物(中村道場)があり、その基壇を北側に盛土により拡張して、新たに本堂を立てたと推測できる。また、河合町城ではこれまであまりわかっていない近世寺院の建築に際しての基壇造成の状況や礎石を据えつける際の状況の一端が明らかとなった。

表3 大輪田・城内遺跡 掲載遺物一覧

調査 番号	図面 番号	遺物名	特 徴	出土位置	遺物登録 ラベル番号
14-1	16-1	土師質 皿	【法量】残存高:2.0cm 復元口径:12.4cm 【色調】灰(75YR7/4) 【粘土】黄、径9cm以下の石灰・炭屑を盛かに含む	第3トレンチ2区	OJ②-45
14-2	16-2	土師質 羽釜	【法量】残存高:2.1cm 復元口径:20.4cm 【色調】外面:灰(75YR5/3)底面:75YR3/1 内面:灰(5YR7/4) 【粘土】黄、径1cm以下の石灰・炭屑・タマリシレ・燻土を盛かに含む 【焼成】良好 【残存率】1/3	第4トレンチ2区	OJ②-49
14-3	16-3	土師質 羽釜	【法量】残存高:3.0cm 【色調】淡黄緑(75YR5/4) 【粘土】黄、径9cm以下の石灰・炭屑・タマリシレを少量含む 【焼成】良好	第1トレンチ	OJ②-2
14-4	16-4	土師質 羽釜	【法量】残存高:1.8cm 【色調】灰(黄緑(10YR7/4)) 【粘土】黄緑、径1cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好 【残存率】1/12以下	第3トレンチ2区	OJ②-45
14-5	16-5	土師質 羽釜	【法量】残存高:4.0cm 復元口径:37.8cm 【色調】外面:灰黄緑(10YR5/2) 内面:灰(黄緑(10YR5/3)) 【粘土】黄、径9cm以下の石灰・炭屑を盛かに含む 【焼成】良好 【残存率】1/12以下 【その他】表採資料	西側山垣	OJ②-23
14-6	16-6	土師質 炊爨	【法量】残存高:3.7cm 【色調】外面:灰黄(75YR7/4) 内面:灰(黄(75YR7/4)) 【粘土】黄、径1cm以下の石灰・炭屑を盛かに含む 【焼成】良好	第2トレンチ	OJ②-42
14-7	16-7	瓦質土器 罎または土甕	【法量】残存高:3.9cm 復元口径:25.8cm 【色調】基調(2.5Y3/1) 【粘土】黄緑、径1cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好 【残存率】1/12	第3トレンチ2区	OJ②-45
14-8	16-8	瓦質土器 罎鉢	【法量】残存高:4.2cm 復元口径:7.8cm 【色調】外面:灰(2.5Y7/1) 内面:灰黄(2.5Y7/2) 【粘土】黄緑、径1cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好 【残存率】1/4	第3トレンチ1区	OJ②-44
14-9	16-9	瓦質土器 罎鉢	【法量】残存高:3.6cm 復元口径:12.8cm 【色調】外面:灰(黄緑(10YR5/3)) 内面:灰(10Y6/1) 【粘土】黄緑、径4cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好 【残存率】1/6	第3トレンチ2区	OJ②-45
14-10	16-10	軒丸瓦	【法量】瓦高復元径:14.2cm 瓦高厚:2.2cm 【色調】灰(N4/0) 【粘土】黄、径2cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好 【その他】表採資料	第2トレンチ	OJ②-41
14-11	16-11	軒丸瓦	【法量】瓦高復元径:14.0cm 瓦高厚:2.0cm 【色調】基調(N4/0) 【粘土】黄、径2cm以下の石灰・炭屑・燻土を少量含む 【焼成】良好	第2トレンチ	OJ②-41
14-12	16-12	軒丸瓦	【法量】瓦高復元径:15.8cm 瓦高厚:2.3cm 【色調】灰(N4/0) 【粘土】黄緑、径6cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好 【その他】巴文	第4トレンチ	OJ②-47
14-13	16-13	軒丸瓦	【法量】瓦高厚:14.0cm 瓦高厚:0.95cm 【色調】灰(N5/0) 【粘土】黄緑、径7cm以下の石灰を少量含む 【焼成】良好 【その他】表採資料	OJ②-48	
14-14	16-14	平瓦	【法量】残存高:5.2cm 残存幅:10.03cm 厚さ:1.8cm 【色調】灰(N4/0) 【粘土】黄緑、径2cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好	第2トレンチ	OJ②-42
14-15	16-15	丸瓦	【法量】残存径:5.8cm 残存幅:5.36cm 厚さ:2.3cm 【色調】灰(N4/0) 【粘土】黄、径1cm以下の石灰・炭屑を少量含む 【焼成】良好 【その他】全面的に灰白が分かる。瓦の形またははね。	第1トレンチ	OJ②-40
14-16	17-16	陶器 鉢	【法量】残存高:4.8cm 【色調】黄緑 釉:灰白色 粘土:灰白色 【粘土】精練 【焼成】良好 【その他】内面に文様(雲文?)	第1トレンチ	OJ②-9
14-17	17-17	磁器 甕(輪付)	【法量】残存高:3.8cm 復元口径:11.0cm 【色調】釉:黄、透明 粘土:白 【粘土】精練 【焼成】良好 【残存率】1/6	第4トレンチ2区	OJ②-47
14-18	17-18	磁器 甕(輪付)	【法量】残存高:3.3cm 底径:4.6cm 【色調】釉:淡青色、透明 粘土:灰白色 【粘土】精練 【その他】外側に華北文	第1トレンチ	OJ②-7
14-19	17-19	磁器 甕(輪付)	【法量】残存高:2.7cm 復元口径:4.8cm 【色調】釉:黄、透明 粘土:白 【粘土】精練 【焼成】良好 【残存率】1/4	第4トレンチ2区	OJ②-47
14-20	17-20	磁器 甕(輪付)	【法量】残存高:1.7cm 復元口径:4.4cm 【色調】釉:黄、透明 粘土:白 【粘土】精練 【焼成】良好 【残存率】1/12以下	第4トレンチ2区	OJ②-47
14-21	17-21	磁器 甕(輪付)	【法量】残存高:3.2cm 復元口径:4.2cm 【色調】釉:黄、透明 粘土:白 【粘土】精練 【焼成】良好 【残存率】1/4	第4トレンチ2区	OJ②-47
14-22	17-22	磁器 甕(輪付?)	【法量】残存高:3.7cm 復元口径:11.6cm 【色調】釉:黄、灰白 粘土:白 【粘土】精練 【焼成】良好 【残存率】1/3 【その他】表採資料	OJ②-48	
14-23	17-23	磁器 甕	【法量】残存高:1.25cm 復元口径:5.4cm 【色調】釉:白、透明 【粘土】精練 【焼成】良好 【残存率】1/4	第2トレンチ	OJ②-42
14-24	17-24	磁器 甕	【法量】残存高:1.85cm 復元口径:7.4cm 【色調】釉:白、灰土 粘土:精練 【その他】内面に青花文	第2トレンチ	OJ②-42
15-25	17-25	土製品 人形?	【法量】長さ:2.8cm 幅:1.3cm 厚さ:0.55cm 重量1g 【色調】明赤褐(2.5YR5/6) 【粘土】精練、径1cm以下の石灰を盛かに含む 【焼成】良好 【その他】刺繍痕	第1トレンチ	OJ②-41
15-26	17-26	土製品 人形?	【法量】長さ:2.35cm 幅:1.2cm 厚さ:0.8cm 重量2g 【色調】明赤褐(2.5YR5/6) 【粘土】精練、径1cm以下の石灰を盛かに含む 【焼成】良好 【その他】刺繍痕	第1トレンチ	OJ②-41
15-27	17-27	土製品 人形?	【法量】長さ:2.35cm 幅:1.25cm 厚さ:0.6cm 重量1g 【色調】黄(2.5YR6/6) 【粘土】精練、径1cm以下の石灰を盛かに含む 【焼成】良好 【その他】刺繍痕	第1トレンチ	OJ②-7
15-28	17-28	鉄製品 釣り金具	【法量】長さ:5.9cm 幅:4.6cm 厚さ:0.15cm 重量16g 【その他】表採資料	OJ②-48	

5. 高山3号墳（高山塚3号古墳）の調査

(1) はじめに

当該調査は平成25年度に専用住宅建て替えに伴い実施した高山3号墳の墳丘、周溝想定範囲内における調査である。調査地は史跡大塚山古墳群中の高山塚3号古墳の指定地北側隣接地であり、工事に先立つ調査として発掘調査を実施した。

2棟の建物建設が予定されているため、調査地内に2本のトレンチを設定した。既存建物建設時の盛土及び盛土直下の旧耕土層を重機により掘削し、それより下位の層位については、微細な遺物の採集も考慮し、全て人力により作業を行った。断ち割りにより深さ120cmまでの状況を確認し、地山までの確認を行った。

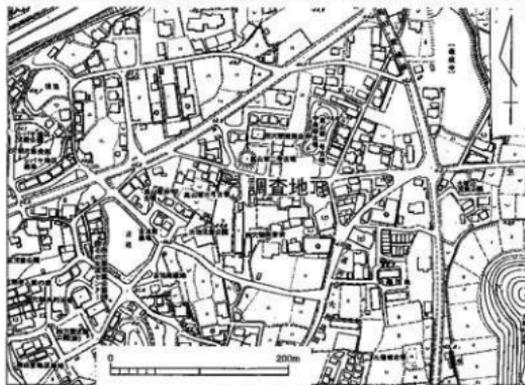


図16 高山3号墳調査地位置図

(2) 遺構

第1トレンチでは墳丘裾は確認できなかった。また、周溝の外側の堀も検出できなかった。

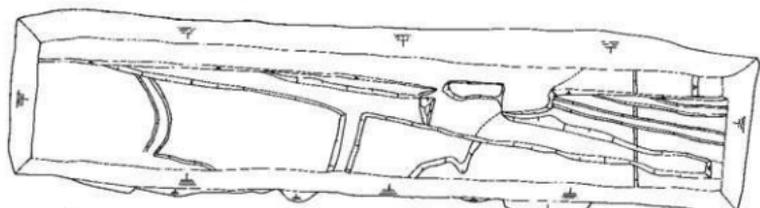
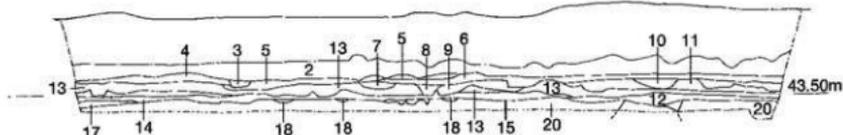
トレンチ北端部で土色の異なる箇所がある。トレンチ底面全体の色調が灰色を基調とする中で、三角形に明るい橙色を呈する箇所が認められる。これを周溝内の土橋状遺構とすれば、トレンチ内で周溝や墳丘裾が検出されなかったことへの合理的な解釈が可能ではある。しかし、周溝部に該当することになる部分からは全く遺物は出土していない点や、色調は異なるが、土質としてはあまり差がないこと、また、この橙色部分の標高が第2トレンチの墳丘裾とほとんど変わらないかむしろ低い点を考慮すると積極的に土橋状遺構とすることはできない。

尚、埋戻し時にトレンチ南東隅を拡張したが、顕著な遺構は検出できなかった。

第2トレンチでは、雨水により良好な状態で平面での検出はできなかったが、トレンチ崖面の土層観察により、墳丘が大きく分けて3段階の開墾により削られ



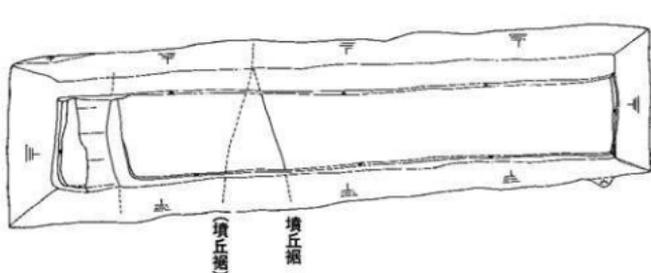
図17 高山3号墳墳丘測量図及び調査トレンチ配置図



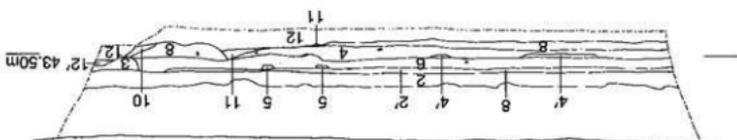
第1トレンチ

高山3号墳第2次 第1トレンチ西壁

層位番号	土層名	土色・組成	備 考	層位番号	土層名	土色・組成	備 考
1	灰褐色土	85-9	埋戻し土の層上	13	灰褐色粘質土	23Y7/6	
2	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土、灰褐色粘質土を混じり、遺物を多く含む	14	灰褐色粘質土	23Y7/6	遺物を多く含む
3	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	15	灰褐色粘質土	23Y7/6	
4	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	16	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
5	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	17	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
6	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	18	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
7	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	19	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
8	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	20	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
9	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土				
10	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土				
11	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土				



第2トレンチ



高山3号墳第2次 第2トレンチ西壁

層位番号	土層名	土色・組成	備 考	層位番号	土層名	土色・組成	備 考
1	灰褐色土	85-9	埋戻し土の層上	3	灰褐色土	23Y7/6	4.12の埋戻し土の層上
2	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	4	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
3	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	5	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
4	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	6	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
5	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	7	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
6	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	8	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
7	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	9	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
8	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	10	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土
9	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土	11	灰褐色粘質土	23Y7/6	埋戻し土

図18 高山3号墳調査トレンチ平面図及び土層断面図

ていることがわかった。原位置を保った葺石や基底石は確認できなかった。

(3) 遺物

出土した遺物のほとんどは埴輪の破片である。円筒埴輪が大平で、朝顔形埴輪とわかるものが少量見られる。その他の遺物としては、須臾器、土師器、瓦器、瓦が出土している。いずれも破片であり、接合する資料もほとんどない。そこで、本報告では参考資料として、高山3号墳を含む大塚山古墳群内で過去に採集・寄贈されたものの、工事立会い等で出土したものを紹介しておく。

高山3号墳の遺物は1～49である。1～44は今回の調査に伴うものである。19は外面に赤色顔料が塗布されており、形象埴輪の一部である可能性も考えられる。

40は瓦器塚で第2トレンチ西壁7層から出土している。7層は墳丘と考えられる11層を切る層である。

43、44は鉄製品である。第2トレンチの旧耕作土層より出土したもので、古墳に伴うものとは考えにくい。皿蓋を半裁したような形状で、平坦な面を設置面とし、くびれ部分に糸などを巻いて留めていたものであろう。

50～56は大塚山古墳の西側周堤の外、前方部南端の真西あたりで、工事に伴う立会い時に出土したものである。堤に沿って近世・近代のものと思われる木杭列の痕跡があり、前方部南端を西へ延長した地点で直角に西へ曲がっていた。その角部分に土塊があり、その中から埴輪や葺石材が一括で出土した。このような杭列による区画は地籍図や現在の地割には残っておらず、古墳に関連する遺構を反映したのかもしれない。詳細な記録を残すことができなかったのが残念である。

67～78は中良塚古墳（高山塚1号古墳）での採集品である。中良塚古墳の上段の東側は後円部からくびれ部にかけて大きく削られているが、そのあたりで集中して散布していたもので、後円部墳頂に配置されていたものである可能性が高い。

51の円筒埴輪はウナナベ古墳出土埴輪との類似性、67～71の中良塚古墳の蓋形埴輪の特徴は上人ヶ平古墳群や久津川古墳群の埴輪との関係が指摘されている²³。全体像は明確ではないが高山3号墳の埴輪もこれらとの関係を考えていかなければならないであろう。

註3) 和田一之輔「埴輪の系統と展開—川合大塚山古墳出土埴輪の紹介—」『文化財論叢』2012年 奈良文化財研究所

(4) まとめ

既存建物（撤去済み）建設時の盛土が想定以上に厚く、また、雨による盛土層からの湧水により、調査地全体でトレンチを拡張できなかった。第2トレンチにおいても、湧水により検出面を丁寧に精査することができなかった。このため、墳形の確定には至らなかった。第2トレンチで墳丘裾を検出したことから、高山2号墳と3号墳がもとは一つの古墳ではないかという指摘もあったが、別の古墳であることが確認された。

墳丘の規模については1991年度の調査結果から推定していた規模²⁴より小さくなるようである。第2トレンチでの黄色粘質土を墳丘と考えると現状の墳丘の西側及び南側は原状に近い状態と考えてもよいことになる。墳形については、第2トレンチ断面の土層観察から図18に示した二通りの捉え方ができ、円墳の可能性が高いものの、方墳の可能性も考えられる。耕作が周溝底より深く及んでいたことも考えられ、周溝の底面が築造当初のままであるとは考えにくい。したがって、第2トレンチで検出した墳丘裾は、築造時の墳丘裾ではないと考えるのが妥当であろう。北側に隣接する高山2号墳のこれまでの調査では墳丘は歪んだ円形に復元されているが、4号墳を含め周辺地域の広範な調査によらない限り、墳形の確認は困難である。

註4) 「高山3号墳 発掘調査報告—河合町文化財調査報告 第5集—」1992年 河合町教育委員会
直径約30mとしているが、今回の調査結果から25m以下になると思われる。

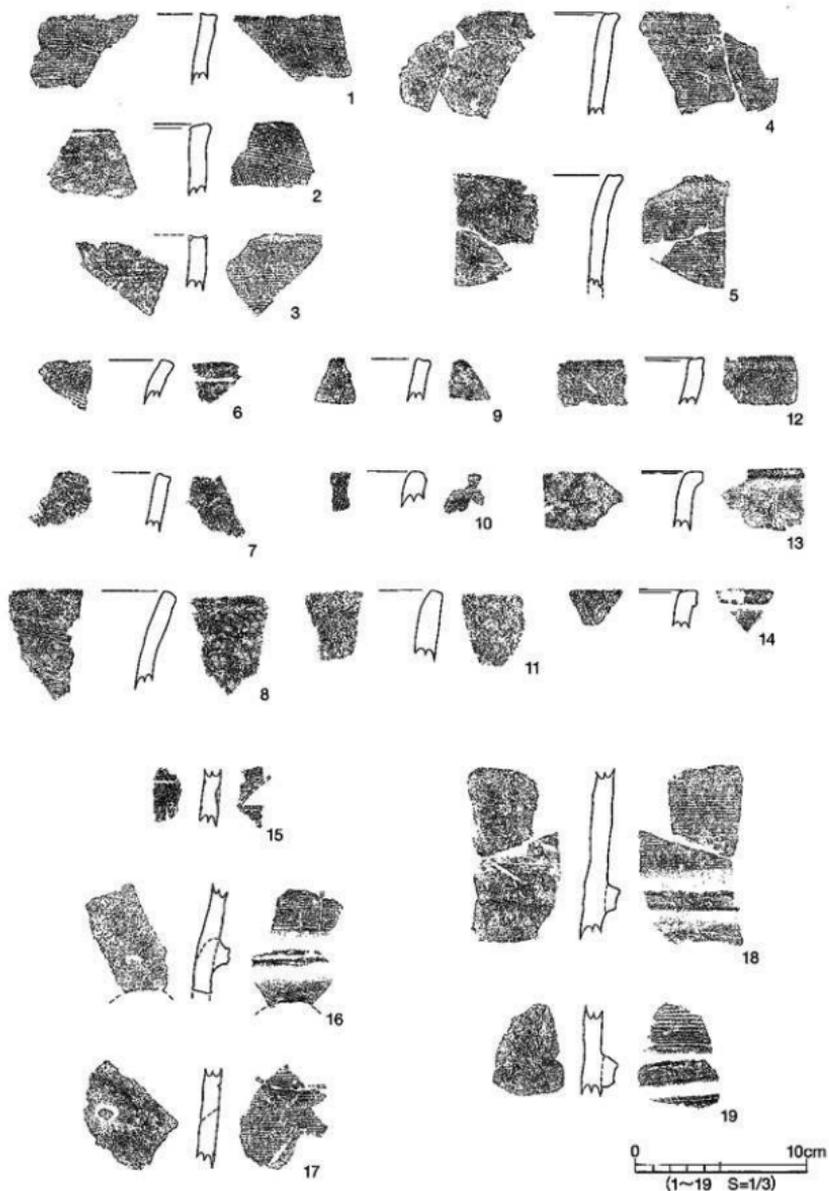


图 19 高山 3 号墳出土・採集遺物 (1)

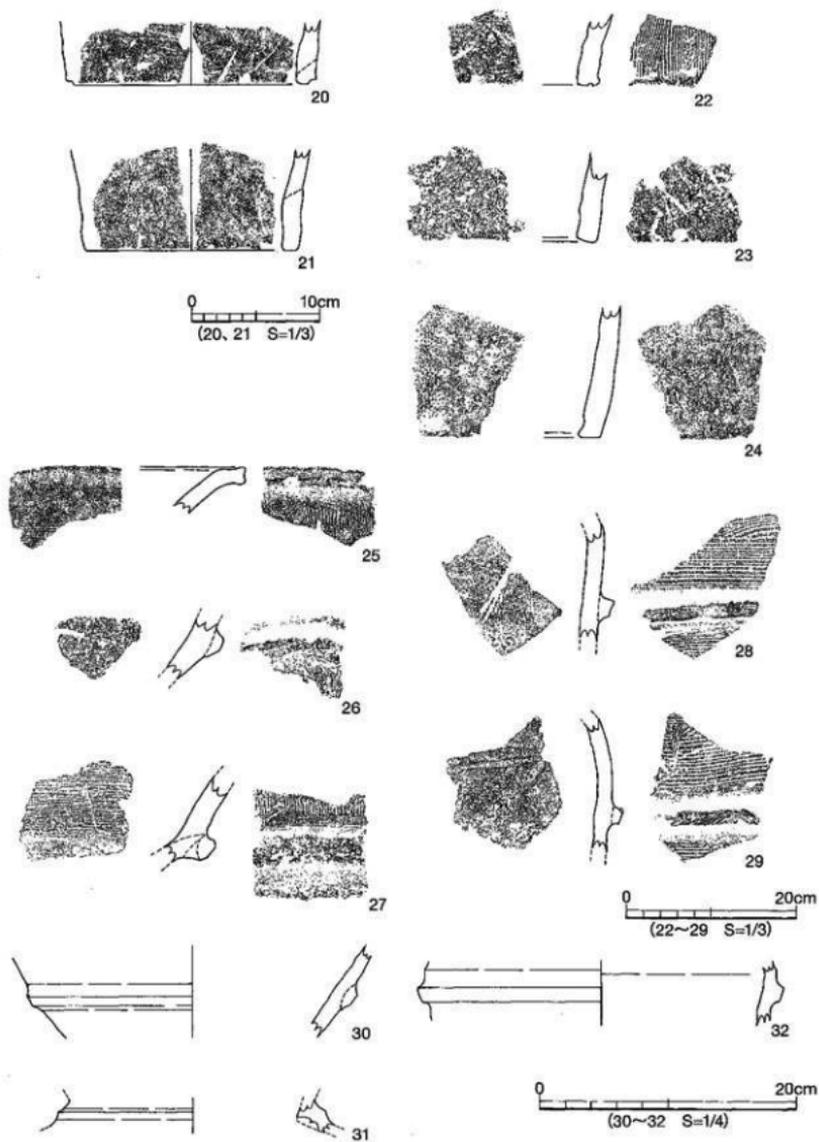


图 20 高山 3 号墳出土採集・遺物 (2)

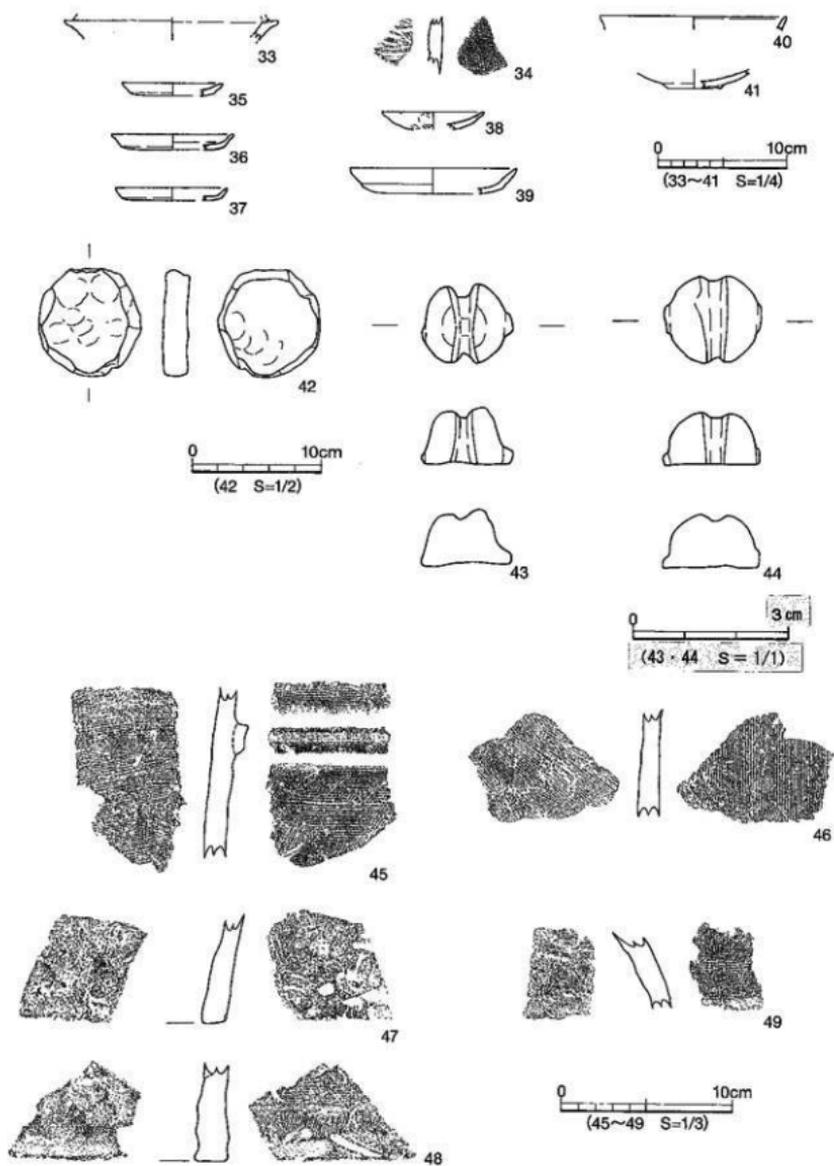


图21 高山3号墳出土・採集遺物(3)

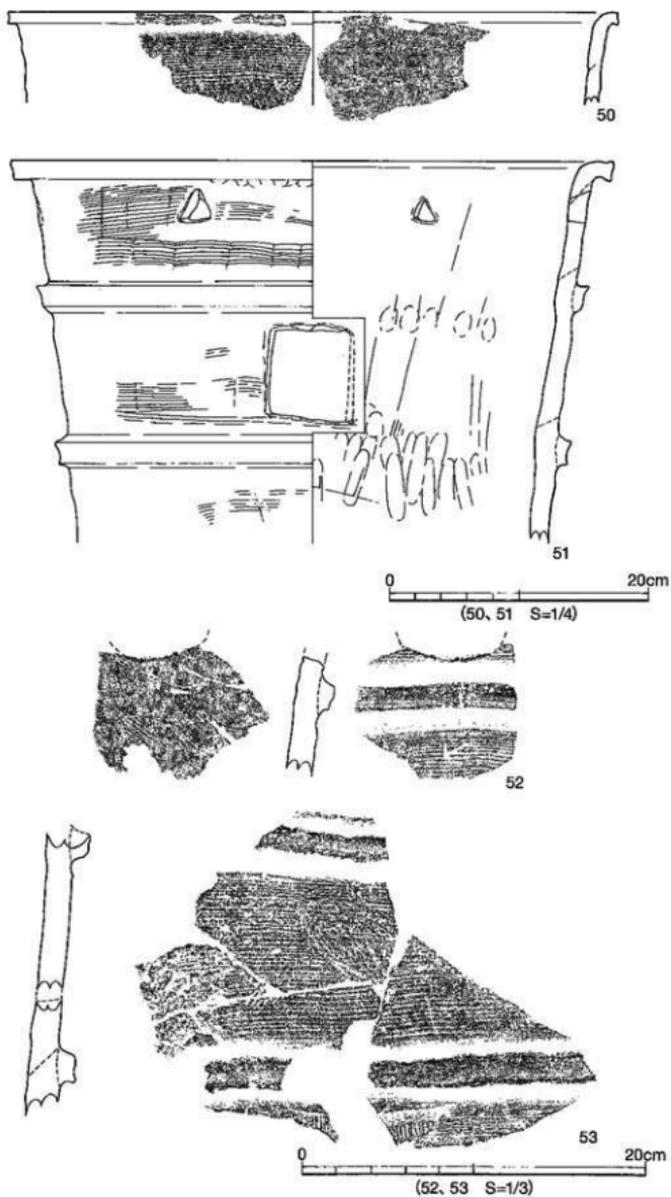


图 22 大塚山古墳群出土・採集遺物 (1)

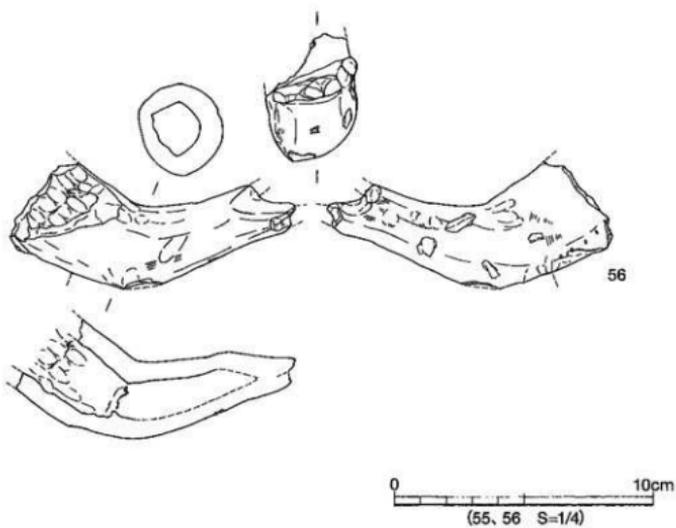
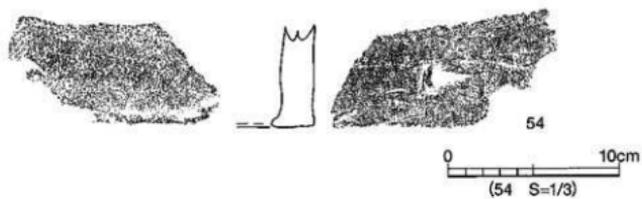
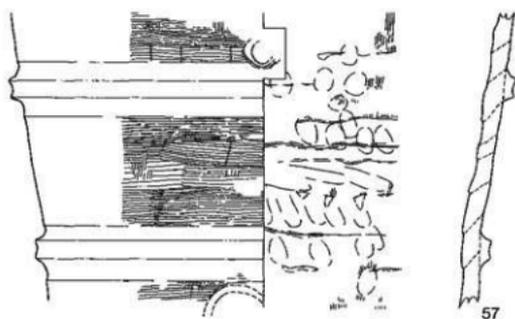
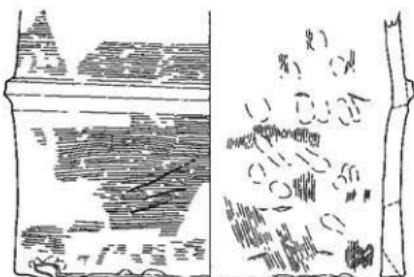


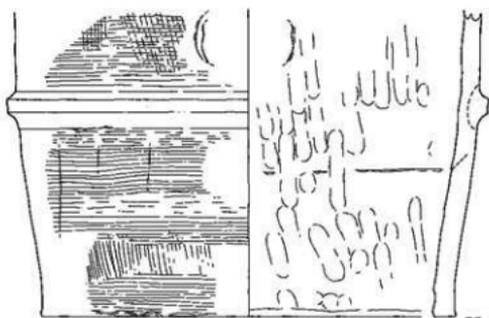
図 23 大塚山古墳群出土・採集遺物 (2)



57



58



59

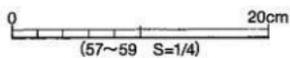
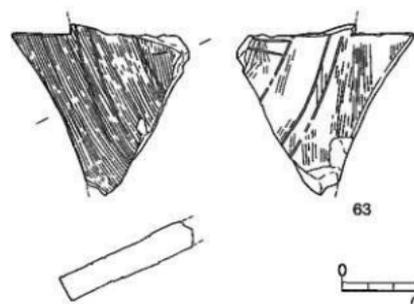
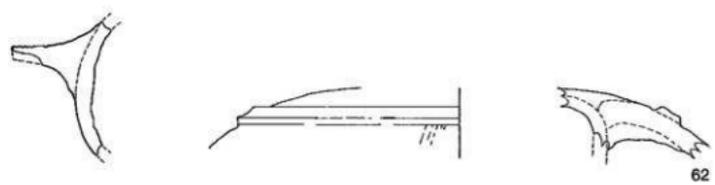
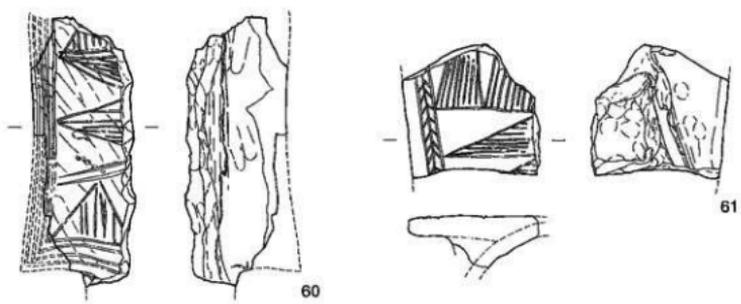
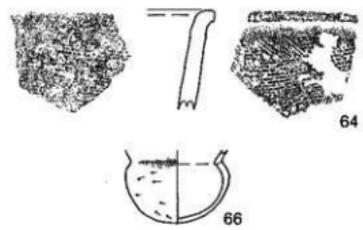


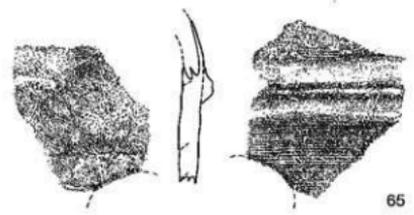
图 24 大塚山古墳群出土・採集遺物 (3)



0 20cm
(60~63 S=1/4)



0 10cm
(66 S=1/4)



0 10cm
(64, 65 S=1/3)

圖 25 大塚山古墳群出土・採集遺物 (4)

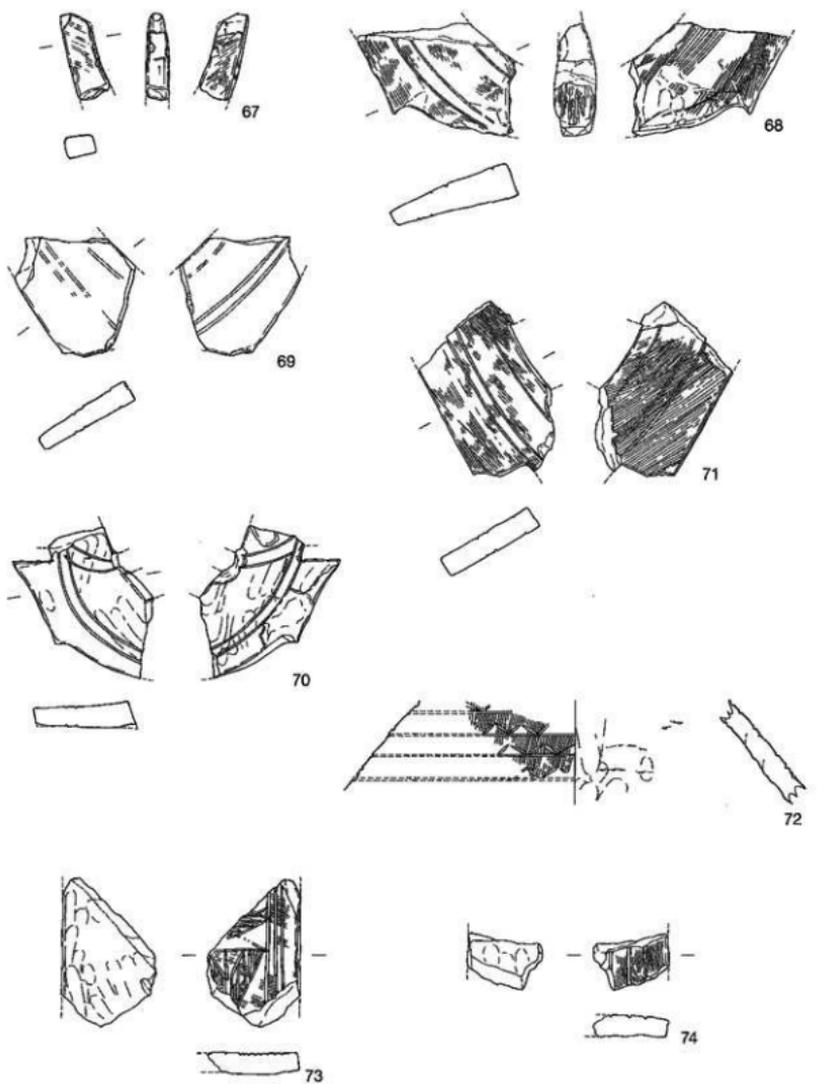


图 26 大塚山古墳群出土・採集遺物 (5)

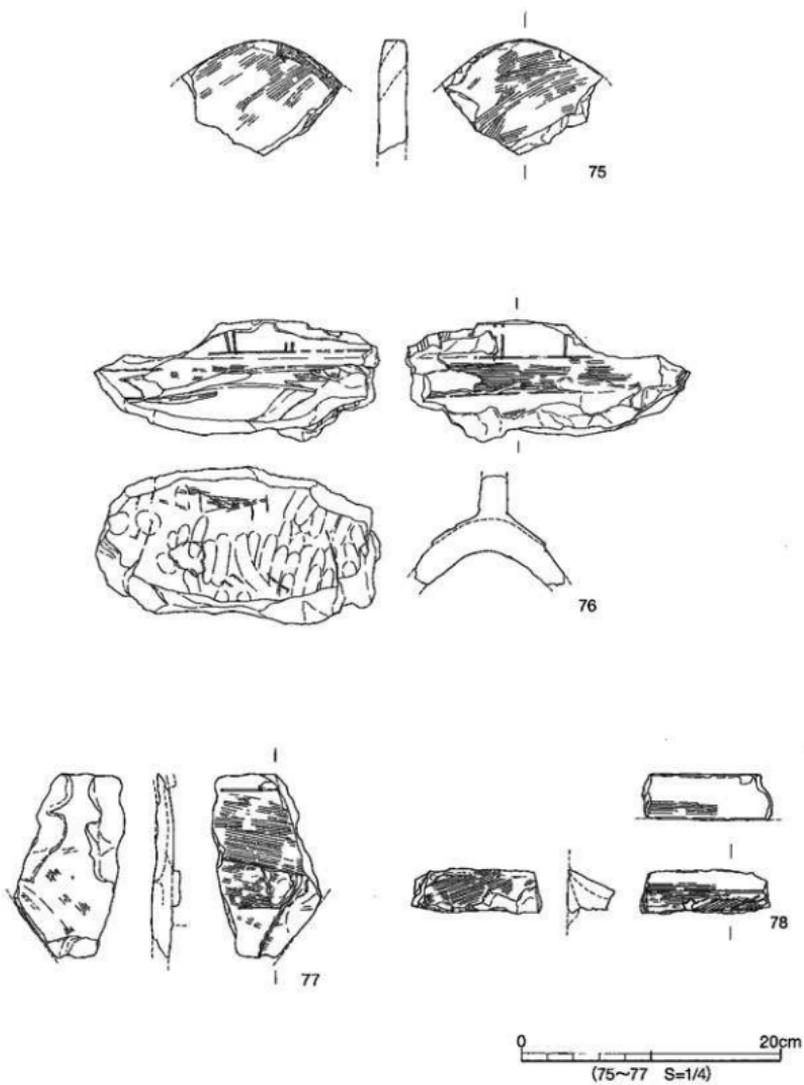


图 27 大塚山古墳群出土・採集遺物 (6)

表4 高山3号墳 掲載遺物一覧

採出 番号	図版 番号	遺物名	特 徴	吉備名	出土位置	遺物台帳 ラベル番号
17-1	21-1	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:4.1cm 【色調】にぶい青(5YR5/3) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:タナハネ・ヨコハケ(7本/cm) 内面:ヨコハケ(7本/cm) 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第1トレンチ 底あたり	NTB③-5
17-2	21-2	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:3.25cm 【色調】青(5YR7/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:タナハネ・ヨコハケ(5本/cm) 内面:ナデ・オキエ 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第1トレンチ 裾部	NTB③-45
17-3	21-3	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:3.2cm 【色調】黄(2.5YR5/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(3本/cm) 内面:ヨコハケ(4本/5cm) 断面:ヨコナテ	高山3号墳	墳丘北側裾部土	NTB③-23
17-4	21-4	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:5.9cm 【色調】にぶい青(5YR7/4) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(7本/cm) 内面:ナデ 断面:ヨコナテ【その他】4・5・18は同一個体の可能性あり	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-5	21-5	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:6.5cm 【色調】外側:にぶい青(5YR7/4) 内側:にぶい青(5YR7/4) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(7本/cm) 内面:ナデ 断面:ヨコナテ【その他】4・5・18は同一個体の可能性あり	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-6	21-6	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:2.7cm 【色調】外側:黄(5YR7/6) 内側:黄(2.5YR5/6) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコナテ 内面:ナメメハケ(5本/8cm)	高山3号墳	第2トレンチ 西側5割り	NTB③-10
17-7	21-7	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:3.4cm 【色調】にぶい青(5YR6/3) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:タナハネ(4本/5cm)→ヨコナテ 内面:ナデ 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-8	21-8	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:5.6cm 【色調】黄(5YR5/6) 【胎土】普通、径5mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】やや不良、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:内側より不明 内面:ヨコハケ(7本/cm) 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-9	21-9	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:2.6cm 【色調】黄(5YR7/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(7本/cm) 内面:ナデ 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第2トレンチ 西側5割り	NTB③-10
17-10	21-10	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:2.4cm 【色調】外側:にぶい赤褐(5YR5/4) 内側:にぶい赤褐(5YR5/3) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコナテ 内面:ナデ 断面:ヨコナテ	高山3号墳	墳丘北側裾部土	NTB③-23
17-11	21-11	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:4.2cm 【色調】黄(5YR7/6) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】やや不良、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】表面割れにより不明	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-12	21-12	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:2.8cm 覆元径:19.8cm 【色調】外側:にぶい青(5YR5/4) 内側:黄(5YR7/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(7本/cm) 内面:ヨコハケ(7本/cm) 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-13	21-13	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:3.55cm 【色調】外側:灰白(10YR8/2) 内側:黄(10YR5/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】表面:より不明 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第2トレンチ 西側5割り	NTB③-10
17-14	21-14	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:2.2cm 【色調】黄(5YR7/6) 【胎土】普通、径1mm以下の石英・長石・黒黄色粒を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 外側:ヨコハケ 内面:ヨコナテ 断面:ナデ	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-15	21-15	円筒埴輪 体部	【法量】残存高:3.3cm 【色調】外側:黄(5YR5/6) 内側:灰白(5YR6/2) 【胎土】普通、径1mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(9本/cm) 内面:ナデ 【その他】外側に斜め方向の産線状の産線あり	高山3号墳	第1トレンチ裾部	NTB③-45
17-16	21-16	円筒埴輪 体部	【法量】残存高:6.4cm 【色調】黄(10YR6/1) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、硬質(頭土質) 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(8本/cm) 内面:ナメメハケ(7本/cm)→ナデ 【その他】円筒スカー、縦方向の産線あり産線あり	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-17	21-17	円筒埴輪 体部	【法量】残存高:5.9cm 【色調】にぶい青(5YR6/4) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(5本/cm) 内面:ナデ 【その他】外側に何個体の産線あり	高山3号墳	墳丘北側裾部土	NTB③-23
17-18	21-18	円筒埴輪 体部	【法量】残存高:10.6cm 【色調】外側:にぶい青(5YR7/4) 内側:黄(5YR5/6) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(7本/cm) 内面:ナデ 凸部:ヨコナテ【その他】4・5・18は同一個体の可能性あり	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
17-19	21-19	円筒埴輪 体部	【法量】残存高:5.4cm 【色調】外側:黄(2.5YR5/6) 内側:黄(5YR7/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:ヨコハケ(5本/cm) 内面:ナデ 【その他】外側赤色産線状産線あり	高山3号墳	墳丘北側裾部土	NTB③-23
18-20	22-20	円筒埴輪 底部	【法量】残存高:5.0cm 覆元径:17.8cm 【色調】外側:にぶい青(5YR7/6) 内側:黄(5YR7/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/6 【調査】外側:タナハネ(7本/cm) 内面:ナデ・オキエ 断面:ハケの小口でかきとり→ナデ・オキエ	高山3号墳	墳丘北側裾部土	NTB③-1
18-21	22-21	円筒埴輪 底部	【法量】残存高:7.9cm 覆元径:16.2cm 【色調】黄(5YR5/4) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】やや不良、軟質 【黒度】なし 【残存率】1/6 【調査】外側:下部にタナハケ(5本/5cm)、大部分は不明 内面:ナデ・オキエ 断面:全調査	高山3号墳	第2トレンチ	NTB③-17
18-22	22-22	円筒埴輪 底部	【法量】残存高:4.2cm 【色調】外側:にぶい青(5YR5/4) 内側:にぶい赤褐(10YR7/3) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外側:タナハネ(7本/cm) 内面:産線:より不明 表面:全調査	高山3号墳	墳丘北側裾部土	NTB③-23

18-23	22-23	円筒軸輪 底面	【位置】残存高:5.4cm 【色調】明茶褐色(2.5YR5/6) 【軸土】普通、径3mm以下の石英・長石・黒色砂粒を少量含む 【組成】良好、軟質 【強度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】 外面:ナテ 内面:ナテ 断面:未調査	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-17
18-24	22-24	円筒軸輪 底面	【位置】残存高:7.65cm 【色調】外面:靑(5YR7/6) 内面:淡黄褐色(10YR8/4) 【軸土】普通、 径3mm以下の石英・長石・クワリキを少量含む 【組成】やや不具、軟質 【強度】なし 【残 存率】1/12以下 【調査】外面:遊動土より不明 内面:ナテ・ユビオキモ 断面:未調査	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-17
18-25	22-25	朝鮮形軸輪 口縁部	【位置】残存高:2.7cm 復元口径:48.8cm 【色調】靑(5YR7/6) 【軸土】普通、径3mm 以下の石英・長石・クワリキを少量含む 【組成】やや不具、軟質 【強度】なし 【残存率】 1/12以下 【調査】外面:タナハケ(8本/cm) 内面:ヨコハケ(8本/cm) 断面:ヨコナテ	高山3号墳	第1トレンチ 北溝	NTB④-46
18-26	22-26	朝鮮形軸輪 口縁部	【位置】残存高:3.6cm 【色調】靑(5YR6/6) 【軸土】普通、径3mm以下の石英・黒 色砂粒を少量含む 【組成】良好、軟質 【強度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面: 遊動土より不明 内面:ナテ	高山3号墳	第2トレンチ 西面6号溝	NTB④-10
18-27	22-27	朝鮮形軸輪 口縁部	【位置】残存高:5.5cm 【色調】外面:靑(5YR7/6) 内面:灰白(7.5YR6/0) 【軸土】 普通、径2mm以下の石英・長石・クワリキを少量含む 【組成】やや不具、軟質 【強度】 なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面:タナハケ(7本/cm) →凸部部ヨコナテ 内面: ヨコハケ(7本/cm)	高山3号墳	坑内北側竪穴	NTB④-23
18-28	22-28	朝鮮形軸輪 凸部部	【位置】残存高:6.9cm 【色調】靑(2.5YR6/6) 【軸土】普通、径2mm以下の石英・長石を 少量含む 【組成】良好、やや硬質 【強度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面: ヨコハケ(5本/cm) 凸部部:ヨコナテ 内面:ナテ	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-9
18-29	22-29	朝鮮形軸輪 凸部部	【位置】残存高:7.9cm 【色調】外面:靑(5YR6/6) 内面:靑(2.5YR6/6) 【軸土】普通、 径2mm以下の石英・長石・黒色砂粒を少量含む 【組成】良好、やや硬質 【強度】なし 【残 存率】1/12以下 【調査】外面:ヨコハケ(5本/cm) 凸部部:ヨコナテ 内面:ナテ	高山3号墳	第2トレンチ 西面6号溝	NTB④-8
18-30	22-30	朝鮮形軸輪 口縁部	【位置】残存高:8.2cm 凸部部口径:25.5cm 【色調】外面:灰白(10YR8/2) 靑(5YR7/6) 内面:淡黄褐色(7.5YR6/3) 【軸土】普通、径3mm以下の石英・長石・クワリキを少量 含む 【組成】良好、軟質 【強度】なし 【残存率】1/12(凸部部分を除く) 【調査】 凸部部:ヨコナテ その他は内外面とも全体に遊動のため不明	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-17
18-31	22-31	朝鮮形軸輪 口縁部	【位置】残存高:7.2cm 【色調】外面:淡黄褐色(10YR8/3) 内面:靑(5YR6/6) 【軸土】 普通、径2mm以下の石英・長石・黒色砂粒を少量含む 【組成】良好、軟質 【強度】なし 【残存率】 第2部1/8 【調査】外面:ヨコナテ 内面:ナテ	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-17
18-32	22-32	朝鮮形軸輪 口縁部	【位置】残存高:5.1cm 【色調】外面:淡黄褐色(7.5YR8/3) 内面:靑(5YR7/6) 【軸土】普通、 径2mm以下の石英・長石を少量含む 【組成】良好、軟質 【強度】なし 【残存率】1/12(凸 部上部分を除く) 【調査】凸部部:ヨコナテ その他は内外面とも全体に遊動のため不明	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-17
18-33	22-33	須恵系 厚身	【位置】残存高:1.7cm 復元径:16.0cm 【色調】外面:灰(5N5/0) 内面:灰(5N4/0) 【軸土】 普通、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【組成】良好 【残存率】1/12 【調査】断面:ナテ	高山3号墳	第1トレンチ 西面6号溝	NTB④-7
18-34	22-34	須恵系 薄身	【位置】残存高:4.5cm 【色調】灰(5N6/0) 【軸土】普通、径1mm以下の長石を僅かに含む 【組成】良好 【調査】外面:平打タナヘ→キモ 内面:同心凹文で片蓋	高山3号墳	第1トレンチ	NTB④-11
18-35	22-35	土師器 底	【位置】残存高:1.0cm 復元口径:7.8cm 【色調】淡黄(7.5Y 2/3) 【軸土】普通、径2mm 以下の石英・長石を少量含む 【組成】良好 【残存率】1/12 【調査】外面断面:ヨコナテ 他はナテ	高山3号墳	第1トレンチ 北溝直下4	NTB④-14
18-36	22-36	瓦器 底	【位置】跡高:1.2cm 復元径:19.48cm 復元底径:6.0cm 【色調】外面:黄灰(2.5Y6/1) 内面:灰白(N4/0) 【軸土】普通、径1mm以下の長石を僅かに含む 【組成】やや不具 【残 存率】1/6 【調査】遊動のため不明	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-9
18-37	22-37	土師器 底	【位置】跡高:1.0cm 復元口径:8.6cm 復元底径:6.0cm 【色調】外面:黄灰(2.5Y6/1) 内面:灰白(N4/0) 【軸土】普通、径1mm以下の長石を僅かに含む 【組成】やや不具 【残 存率】1/7 【調査】ナテ	高山3号墳	第2トレンチ 溝1	NTB④-16
18-38	22-38	土師器 底	【位置】残存高:1.4cm 復元口径:7.8cm 【色調】淡黄(7.5YR8/4) 【軸土】普通、径1 mm以下の長石を僅かに含む 【組成】良好 【残存率】1/6 【調査】外面断面:ヨコナテ(8本/cm) →ナテ・オキモ 断面:ヨコナテ 内面:ナテ	高山3号墳	壇丘上 表溝	NTB④-3
18-39	22-39	土師器 底	【位置】跡高:2.0cm 復元口径:12.8cm 復元底径:7.7cm 【色調】外面:靑(5YR6/6) 内面: 灰白(黄灰(10YR7/4) 【軸土】普通、径1mm以下の石英・クワリキを僅かに含む 【組成】 良好 【残存率】1/12以下 【調査】外面断面:ヨコナテ 他はナテ	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-9
18-40	22-40	瓦器 塊(大形型)	【位置】跡高:1.1cm 復元口径:14.2cm 【色調】外面:黄灰(10YR4/1) 内面:黒褐色(10YR3/1) 【軸土】普通、径1mm以下の長石を僅かに含む 【組成】やや不具 【残存率】1/12 【調 査】断面のため不明	高山3号墳	第2トレンチ 西側土師器直下5	NTB④-29
18-41	22-41	瓦器 塊	【位置】残存高:2.0cm 復元底径:4.0cm 【色調】外面:灰黄(2.5Y7/2) 内面:灰(2.5Y4/1) 灰白(2.5Y7/1) 【軸土】普通、径1mm以下の長石を僅かに含む 【組成】やや不具 【残存率】 1/3 【調査】遊動のため不明 断面に磁文が残存	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-9
18-42	22-42	土器内蓋 (磁輪形用?)	【位置】直径4.2cm 厚さ0.95cm 重量21g 【色調】外面:靑(2.5Y 6/6) 内面:灰 白(2.5Y 8/5/4) 【軸土】普通、径3mm以下の石英・長石・クワリキを少量含む 【組 成】良好 【残存率】残存 【調査】ナテ・オキモ 打ち抜き磁輪が認められる	高山3号墳	壇丘上 表溝	NTB④-3
18-43	22-43	鉄製品 飾り金具	【位置】長さ1.5cm 幅1.8cm 厚さ1.1cm 重量6g	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-4
18-44	22-44	鉄製品 飾り金具	【位置】長さ1.7cm 幅1.85cm 厚さ1.3cm 重量7g	高山3号墳	第2トレンチ	NTB④-4
18-45	22-45	円筒軸輪 作部	【位置】残存高:16.0cm 【色調】外面:灰白(7.5YR5/4) 内面:靑(5YR7/6) 【軸土】 普通、径1mm以下の石英・長石を少量含む 【組成】良好、やや硬質 【強度】なし 【残 存率】1/12以下 【調査】外面:タナハケ(7本/cm) →ヨコハケ(8本/cm) →部分ナ メハケ 内面:ヨコハケ(8本/cm)	高山3号墳	壇丘上 表溝	NTB④-27
18-46	22-46	彩象埴輪?	【位置】残存高:6.3cm 【色調】外面:黄灰(2.5Y4/1) 内面:靑(2.5Y 6/7) 【軸土】普通、 径2mm以下の石英・長石を少量含む 【組成】良好、硬質(やや硬脆質) 【強度】なし 【調 査】外面:タナハケ(7本/cm) 内面:タナメハケ(7本/cm)	高山3号墳	壇丘上 表溝	KHS-46
18-47	22-47	円筒軸輪 底面	【位置】残存高:6.4cm 【色調】外面:灰白(7.5YR6/4) 内面:靑(5Y 6/6) 【軸土】 普通、径2mm以下の石英・長石・黒色砂粒を少量含む 【組成】良好、やや硬質 【強度】 なし 【残存率】1/12以下 【調査】内外面ともナテ 断面:未調査	高山3号墳	東側斜面 表溝	KHS-47
18-48	22-48	円筒軸輪 底面	【位置】残存高:5.8cm 【色調】灰白(黄灰(10YR7/4) 【軸土】普通、径1mm以下の石英・ 長石を少量含む 【組成】良好、軟質 【強度】なし 【残存率】1/12以下 【調査】タナハケ(8 本/cm) →ヨコハケ(7本/cm) 内面:ナテ・ユビオキモ 断面:未調査	高山3号墳	壇丘上 表溝	NTB④-27

19-49	23-49	朝顔形埴輪 糸紋部	【法量】残存高:4.4cm 【色調】外面:にぶい黄(7.5YR6/4) 内面:にぶい赤黄(5YR5/4) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒染】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面:タナハク(3本/cm) →ヨコハク(8本/cm) 内面:ナダ	高山3号墳	墳丘上 表様	NTⅡ-27
20-50	34-50	円筒埴輪 1線部	【法量】残存高:7.2cm 復元口径:47.0cm 【色調】外面:黄(7.5YR7/6) 内面:黄(5YR7/6) 【胎土】やや粗、径2mm以下の石英・長石・雲母・クワリレキをやや多く含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/12 【調査】外面:黒種ヨコハク(4本/cm) 内面:ナダ 底部:ヨコナダ 【その他】口縁部は水平に外側に傾く。	大塚山古墳	前方部南西側 外溝底	KOTⅡ-2-1
20-51	25-51	円筒埴輪 1線部	【法量】残存高:29.5cm 復元口径:46.0cm 【色調】黄(5YR7/6) 【胎土】黄、径2mm以下の石英・長石・雲母・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/4 【調査】外面:黒種ヨコハク(4本/cm) 内面:ナメハク(4本/cm) →ナダ・ユビオサエ 【その他】口縁部は三角状スリあり。2か所残存、1〜6方向の可能性あり。上から2段目に方形カシ(7cm)あり。2または4方向か、口縁部は外側に水平に突出する。	大塚山古墳	前方部南西側 外溝底	KOTⅡ-2-1
20-52	24-52	円筒埴輪 体部	【法量】残存高:7.0cm 【色調】黄(2.5YR6/8) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・黒色砂粒・雲母・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面:ヨコハク(5本/cm) 内面:ヨコハク(5本/cm) →ナダ 【その他】円形カシ	大塚山古墳	前方部南西側 外溝底	KOTⅡ-2-1
20-53	24-53	円筒埴輪 弁部	【法量】残存高:16.5cm 復元径(上段凸部下):40.2cm 【色調】外面:黄(2.5YR6/6) 内面:黄(10YR8/4) 【胎土】普通、径4mm以下の石英・長石・雲母・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面:ヨコハク(4〜6本/cm) →ヨコハク(4〜6本/cm) 内面:ナダ	大塚山古墳	西方部南西側 外溝底	KOTⅡ-2-1
21-54	24-54	円筒埴輪 底面	【法量】残存高:6.0cm 【色調】外面:黄(5YR7/6) 内面:黄(7.5YR8/4) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石・クワリレキ・雲母を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/12以下 【調査】タナハク(4本/3cm) →ヨコハク(4本/3cm) 内面:ナダ 底面:未調整	大塚山古墳	前方部南西側 外溝底	KOTⅡ-2-1
21-55	24-53	円筒埴輪 底面	【法量】残存高:10.9cm 復元径:21.8cm 【色調】外面:にぶい黄(5YR7/4) 内面:黄(5YR7/6) 【胎土】やや粗、径4mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/4 【調査】外面:タナハク(5本/cm) →ヨコハク(5本/cm) 内面:ヨコハク(6本/cm) →ナダ・ユビオサエ	大塚山古墳	前方部南西側 外溝底	KOTⅡ-2-1
21-56	25-56	双耳形埴輪 丸蓋部	【法量】残存高:21.8cm 幅:9.9cm 厚さ:1.0〜1.6cm 【色調】外面:黄(7.5YR8/3) 内面:黄(10YR8/2) 【胎土】黄、径5mm以下の石英・長石・黒褐色砂粒・赤褐色砂粒・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【調査】外面:金付のハケ(4本/5cm) 調整後ナダ・オサエ。内面:ナダ 【その他】家に紐の接合部あり。貯付近に葉の刺痕あり。溝部分に彫刻が認められる。陶器で容器を押しつけたと考えられる。	大塚山古墳	前方部南西側 外溝底	KOTⅡ-2-1
22-57	26-57	円筒埴輪 体部	【法量】残存高:23.1cm 復元径(上段凸部):39.4cm 【色調】黄(2.5YR6/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【調査】外面:タナハク(4〜7本/cm) →ヨコハク(5〜7本/cm) 内面:タナハク(6本/cm) →ナダ・ユビオサエ 【その他】上部に円形カシ。一段落けて下部に円形カシ	大塚山古墳	前方部東側下段段石 表様	KHS-49
22-58	26-58	円筒埴輪 底面	【法量】残存高:21.0cm 復元径:30.2cm 【色調】黄(2.5YR7/6) 【胎土】普通、径5mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【調査】外面:ヨコハク(6本/cm) 内面:タナハク(6本/cm) →ナダ・オサエ。底面:未調整	大塚山古墳	西方部東側 下段段石上 表様	KHS-48
22-59	26-59	円筒埴輪 底面	【法量】残存高:24.1cm 復元径:31.8cm 【色調】黄(5YR7/6) 【胎土】普通、径3mm以下の石英・長石・赤褐色砂粒・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、やや硬質 【黒染】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面:タナハク→ヨコハク(3〜4本/cm) 内面:ナダ・オサエ 【その他】円形カシ	大塚山古墳	西方部北側 墳丘上 溝内表様	KHS-50
23-60	27-60	扇形埴輪	【法量】残存高:21.15cm 残存幅:7.9cm 厚さ:1.45cm、円筒部1.15cm 円筒部復元径:18.0cm 【色調】黄(2.5YR6/6) 【胎土】黄、径6mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【調査】ナダ・ユビオサエ 【その他】縁部(断面文・線形文)	大塚山古墳	前方部東側 墳丘上表様	KHS-11
23-61	27-61	扇形埴輪	【法量】残存高:10.5cm 残存幅:10.25cm 厚さ:1.5cm、円筒部1.1cm 円筒部復元径:19.8cm 【色調】にぶい黄(7.5YR7/4) 【胎土】黄、径2mm以下の石英・長石・クワリレキ・雲母を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【調査】ナダ・ユビオサエ 【その他】縁部(断面文・線形文)	大塚山古墳	後円部北西側	
23-62	27-62	帯形埴輪 弁部	【法量】残存高:5.5cm 円筒部径:22.6cm 【色調】黄(2.5YR6/6) 【胎土】黄、径4mm以下の石英・長石・黒褐色砂粒・赤褐色砂粒を少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【調査】外面:ハケ(3本/cm) →ナダ 内面:ナダ	大塚山古墳	前方部東側 墳丘上表様	KHS-11
23-63	27-63	帯形埴輪 立端	【法量】残存高:13.3cm 残存幅:13.7cm 厚さ:2.0cm 【色調】黄(5YR7/6) 【胎土】黄、径2mm以下の石英・長石・ナート・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし	大塚山古墳	後円部東側 南西側表様	KTX-1
23-64	27-64	円筒埴輪 口縁部	【法量】残存高:5.8cm 【色調】黄(7.5YR6/6) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/12以下 【調査】ハケ(5本/cm) 小口部:ケズリ→ナダ 【その他】縁部に弧線と直線を描く。	大塚山古墳	墳丘上表様	KTX-29
23-65	27-65	朝顔形埴輪 立端部	【法量】残存高:9.9cm 【色調】外面:黄(5YR6/6) 内面:黄(7.5YR6/6) 【胎土】普通、径1mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好、軟質 【黒染】なし 【残存率】1/12以下 【調査】外面:ヨコハク(7本/cm) 内面:ヨコハク(8本/cm) ナダ 【その他】外面全体に僅かに赤色顔料残存。円形カシ	大塚山古墳	墳丘上表様	KTX-29
23-66	27-66	土師器 小型丸蓋部	【法量】残存高:5.7cm 径最大径:8.0cm 【色調】外面:黄(5YR6/6) 内面:にぶい黄(5YR7/4) 【胎土】普通、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好 【黒染】なし 【残存率】全体の4/5 【調査】外面:口縁部はハケ(8本/cm) →ヨコナダ 体部はヘラケズリ→ナダ 内面:ナダ・ヨコナダ 【その他】外面全体に僅かに赤色顔料残存。7面に付着。	大塚山古墳	墳丘上表様	KTX-29
24-67	28-67	帯形埴輪 立端	【法量】残存高:6.7cm 残存幅:3.7cm 厚さ:1.75cm 【色調】黄(5YR6/6) 明赤種2.5YR5/6) 【胎土】黄、径2mm以下の石英・長石・雲母を少量含む 【焼成】良好 【黒染】なし 【調査】文様部:ハケ(5本/cm) 小1:ヘラケズリ→ナダ 【その他】7面に赤色顔料残存	中泉塚古墳	後円部東側 下段テラス 表様	NNR-X-14
24-68	28-68	帯形埴輪 立端	【法量】残存高:8.75cm 残存幅:12.25cm 厚さ:2.7cm 【色調】明赤種(2.5YR5/6) 赤(10YR8/6) 【胎土】黄、径2mm以下の石英・長石・クワリレキを少量含む 【焼成】良好 【黒染】なし 【調査】ハケ(6本/cm) →筋文 小口:ヘラケズリ→ナダ 【その他】面と側面に赤色顔料残存。彫刻(弧線)	中泉塚古墳	後円部東側 下段テラス 表様	NNR-X-14

24-69	28-69	五形埴輪 立舟	【法量】 残存長:9.2cm 残存幅9.4cm 厚さ:1.7cm 【色調】 灰黒(SYR5/2) 【筋工】 やや密、径2mm以下の石英・長石・クサリレキを少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【産地】 ナデア→施文 小1:ヘラクスリ→ナデア 【その他】 縁部(黒緑)	中泉塚古墳	表押	KHS-32	
24-70	28-70	五形埴輪 立舟	【法量】 残存長:11.9cm 残存幅10.85cm 厚さ:1.95cm 【色調】 土に近い黄(SYR6/4) 赤(7.5YR4/9) 【筋工】 密、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 ナデア→施文 小1:ヘラクスリ→ナデア 【その他】 両面に赤色顔料残存。縁部(黒緑)	中泉塚古墳	後門部東側 下段テラス	表押	NNR-X-18
24-71	28-71	五形埴輪 立舟	【法量】 残存長:13.5cm 残存幅10.6cm 厚さ:1.8cm 【色調】 黄(SYR6/6) 赤(7.5YR4/6) 【筋工】 密、径1mm以下の石英・長石・赤褐色砂粒を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 ハケ(10本/cm)→施文 【その他】 両面全とも赤に赤色顔料残存。縁部(黒緑)	中泉塚古墳	後門部東側 下段テラス	表押	NNR-X-14
24-72	28-72	五形埴輪 立舟	【法量】 残存長:8.0cm 厚さ:1.5cm 最大35.6cm 【色調】 土に近い黄(7.5YR6/4) 【筋工】 密、径2mm以下の石英・長石・赤褐色砂粒・クサリレキを少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 外面:ハケ(7~8本/cm)→施文 内面:ナデア→エビオサエ 【その他】 縁部(山形文・穿縁)	中泉塚古墳	後門部東側	表押	NNR-X-18
24-73	28-73	五形埴輪 立舟	【法量】 残存長:11.56cm 残存幅:7.7cm 厚さ:1.6cm 【色調】 土に近い黄(SYR6/4) 【筋工】 密、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 外面:ハケ(9本/cm)→ナデア→施文 内面:ナデア→エビオサエ 【その他】 縁部(山形文・穿縁)	中泉塚古墳	後門部東側 下段テラス	表押	NNR-X-14
24-74	28-74	五形埴輪 立舟	【法量】 残存長:14.4cm 残存幅:5.3cm 厚さ:1.75cm 【色調】 土に近い黄(SYR6/4) 【筋工】 密、径1mm以下の石英・長石・赤褐色砂粒を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 外面:ハケ(8~9本/cm)→施文 内面:ナデア→エビオサエ 【その他】 赤色顔料残存。縁部(点線)	中泉塚古墳	表押	KHS-51	
25-75	29-75	家形埴輪 板杖部 (成風板)	【法量】 残存長:8.86cm 残存幅12.4cm 厚さ:2.1cm 【色調】 土に近い赤黒(SYR4/3) 【筋工】 密、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 ハケ(6~7本/cm)→ナデア 小1:ヘラクスリ→ナデア 【その他】 両面に赤色顔料残存	中泉塚古墳	後門部東側 下段テラス	表押	NNR-X-14
25-76	29-76	家形埴輪 板杖部	【法量】 残存長:21.8cm 残存幅9.5cm 厚さ:2.5cm 【色調】 外面:黄(7.5YR7/6) 内面:黄(SYR7/6) 【筋工】 密、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 外面:ハケ(5本/cm)→施文 内面:ハケ(4本/cm)→ナデア 【その他】 縁部の基部に水平方向の縦筋、上部に2本1組になる垂直方向の縦筋あり。	中泉塚古墳	表押	KHS-52	
25-77	29-77	家形埴輪 板杖部	【法量】 残存長:14.2cm 残存幅8.5cm 厚さ:1.6cm 【色調】 土に近い赤黒(2.5YR4/4) 【筋工】 密、径2mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 ハケ(7~8本/cm)→施文→凸部貼り付け 【その他】 両面に赤色顔料残存	中泉塚古墳	後門部東側 下段テラス	表押	NNR-X-14
25-78	29-78	家形埴輪 板杖部	【法量】 残存長:10.0cm 残存幅3.5cm 厚さ:3.0cm 【色調】 土に近い赤黒(2.5YR4/4) 【筋工】 密、径1mm以下の石英・長石を少量含む 【焼成】 良好 【黒度】 なし 【調整】 上面:ハケ(9本/cm)→ナデア 前面:ハケ(9本/cm) 下面(ヘラクスリ→ナデア) 【その他】 両面に赤色顔料残存 側部部分にハケ(9本/cm)	中泉塚古墳	後門部東側 下段テラス	表押	NNR-X-14

图 版



①高山3号墳(手前)と高山2号墳(左奥)・中良塚古墳(右奥)



②高山3号墳と大塚山古墳(左奥)



75



67



71



77



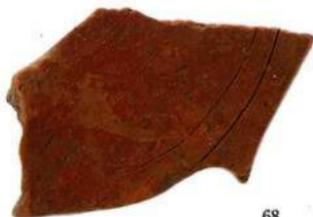
70



78



19



68



①調査前（東から）



②掘削状況（東から）



①掘削状況（西から）



1



2



3



②出土遺物

①調査前（東から）



②第6トレンチ付近
調査前（東から）



③第1トレンチ
調査前（東から）





①第1トレンチ
(西から)



②第2トレンチ
(西から)



③第3トレンチ
(南から)



①第4トレンチ
(北から)



②第5トレンチ
(北から)



③第6トレンチ
(東から)



①第7トレンチ
(西から)



②第7トレンチ
須恵器出土状況
(西から)



③第7トレンチ
拡張後(南から)



①第8トレンチ
(南から)



②第9トレンチ
(西から)



1



③出土遺物



2



①調査前（北から）



②第1トレンチ
調査前
（北東から）



③第1トレンチ
表土除去後
（北東から）

①第1トレンチ
掘り下げ状況
(北から)



②第2トレンチ
掘り下げ状況
(東から)



③建物撤去後(北から)





①建物撤去後の基壇
(北東から)



②第3トレンチ・
第4トレンチ
(東から)

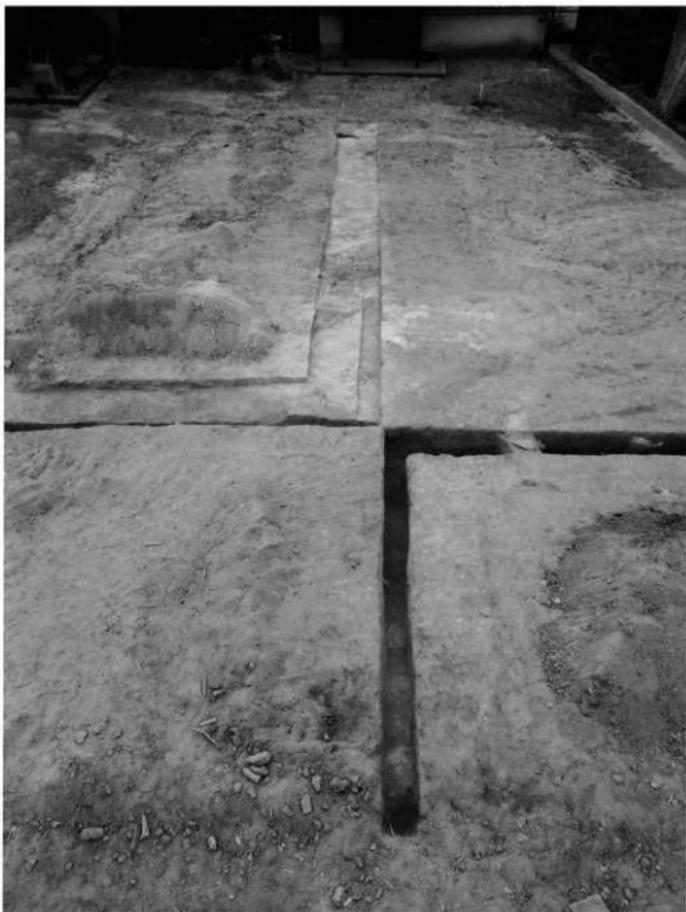


③第3トレンチ・
第4トレンチ
(北から)

①第3トレンチ1区
土壌（西から）



②第3トレンチ・
第4トレンチ
（北から）





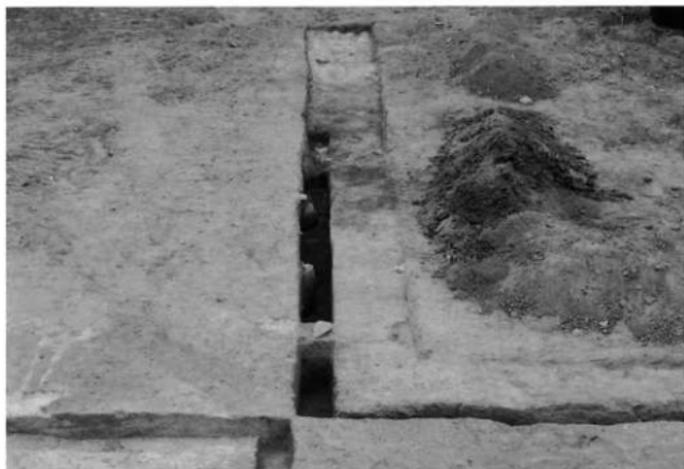
①第3トレンチ1区
礎石1掘り付け痕
(西から)



②第4トレンチ
1区 盛土状況
(西から)



③第4トレンチ2区
(北東から)



①第4トレンチ2区
礎石列 (東から)



②第4トレンチ2区
礎石2 (南から)



③第4トレンチ2区
礎石2 (北から)



①第4トレンチ2区
礎石3 (北から)



②第4トレンチ2区
礎石4 (北から)



③第4トレンチ2区
礎石4 据え付け痕跡
検出状況

①第4トレンチ2区
礎石4 (北から)

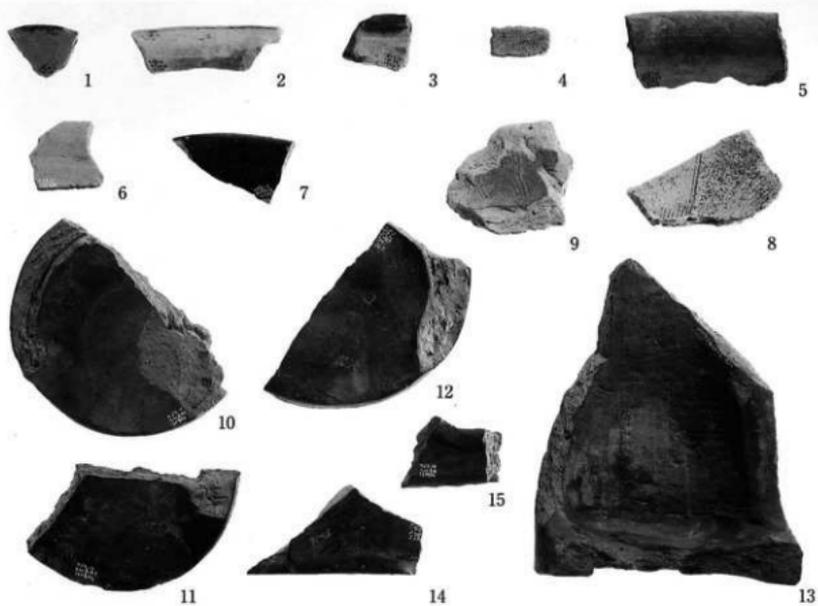
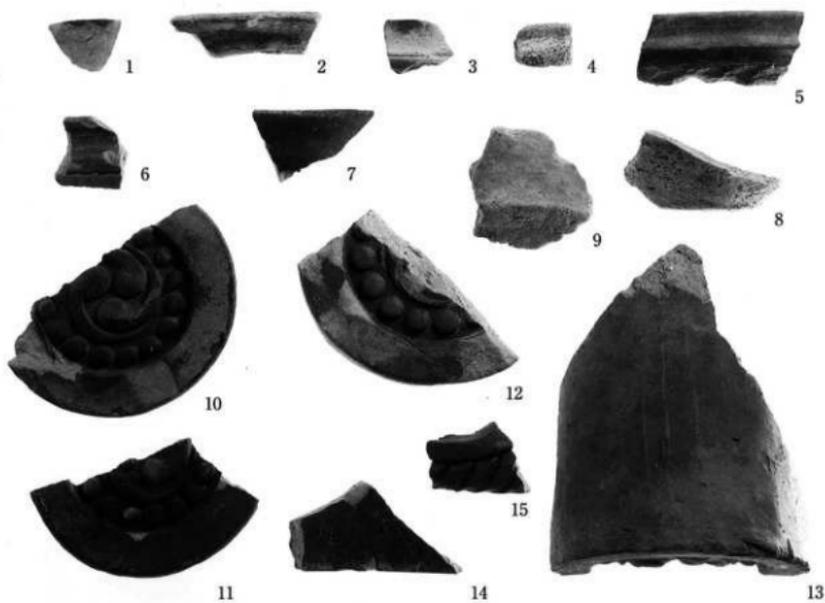


②第4トレンチ2区
礎石4 礎除去後
(北から)

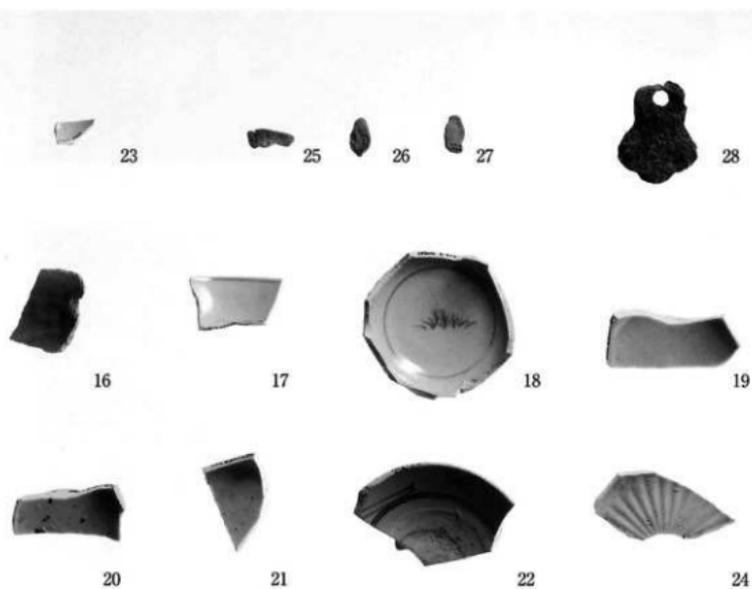
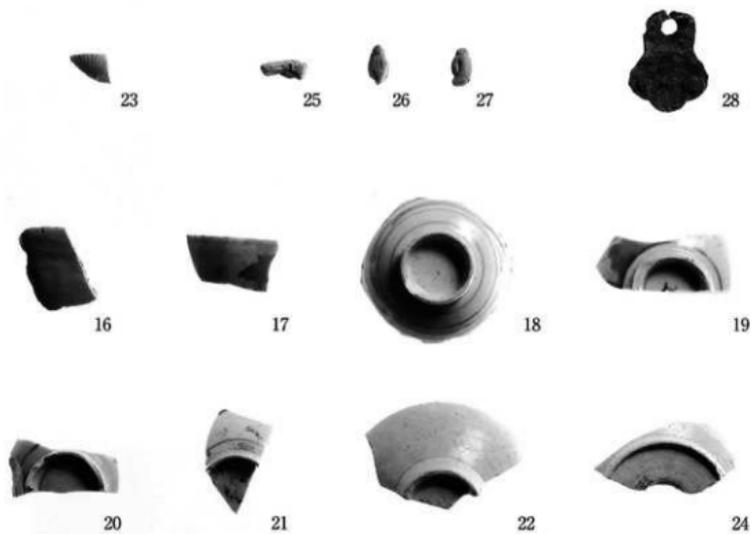


③第4トレンチ2区
礎石4 礎除去後
(南から)





出土遺物 (1)



中良塚古墳

大塚山古墳



高山2号墳

高山3号墳

①高山3号墳と周辺の古墳（西から）



②高山2号墳（左）と高山3号墳（中央）（北から）



③調査前（北から）



①完掘状況（北から）



②第1トレンチ
（北西から）



③第1トレンチ
拡張区（西から）



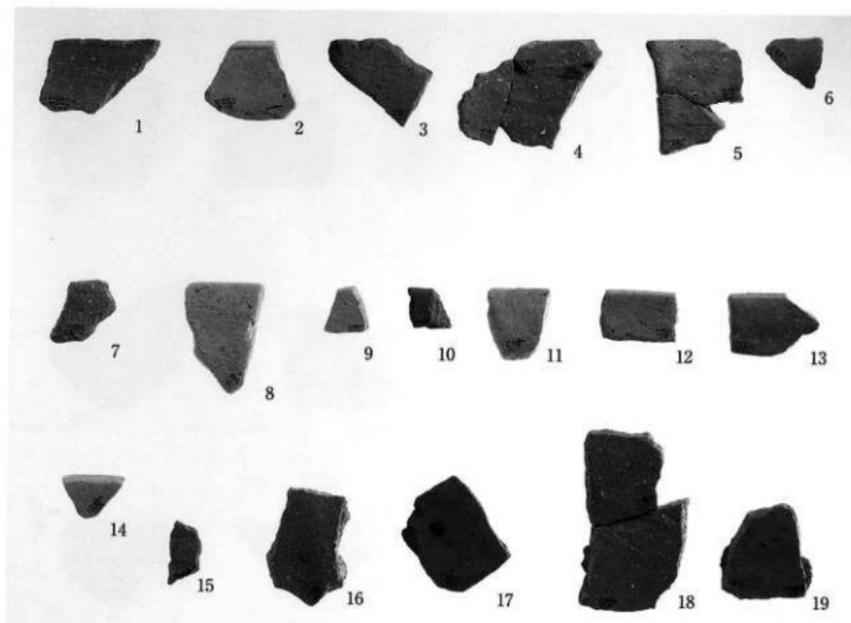
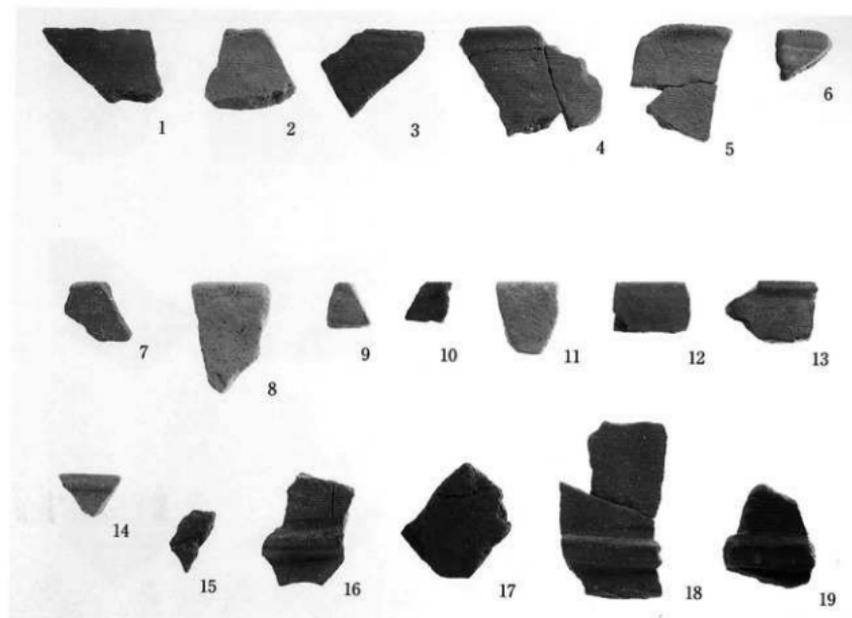
①第1トレンチ (北から)



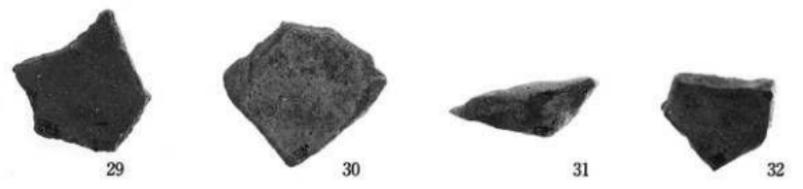
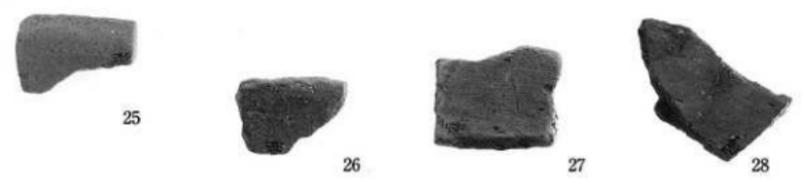
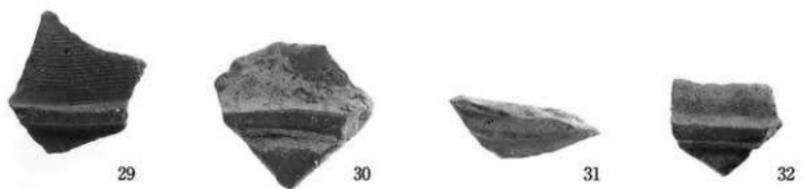
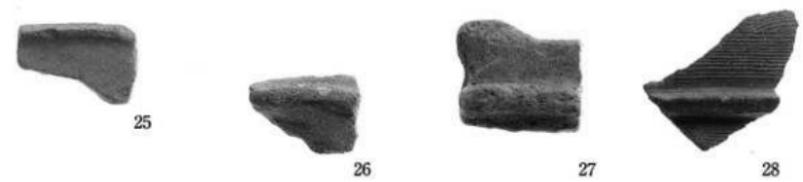
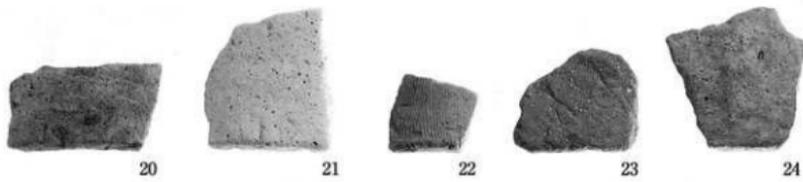
②第2トレンチ (北から)

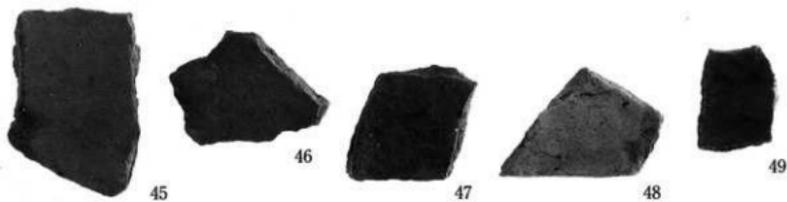
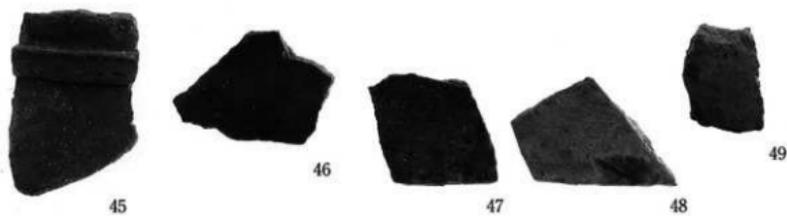


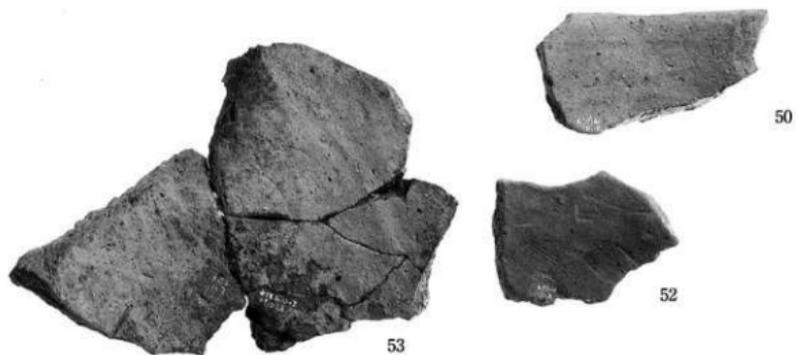
③第2トレンチ (南・墳丘から)



出土・採集遺物 (1)









51



56

大塚山古墳群出土・採集遺物 (2)



57



58



59



60



61



62



63



60



61



62



63



67



68



69



70



71



72



74



73



67



68



69



70



71



72



74



73



75



76



77



78



75



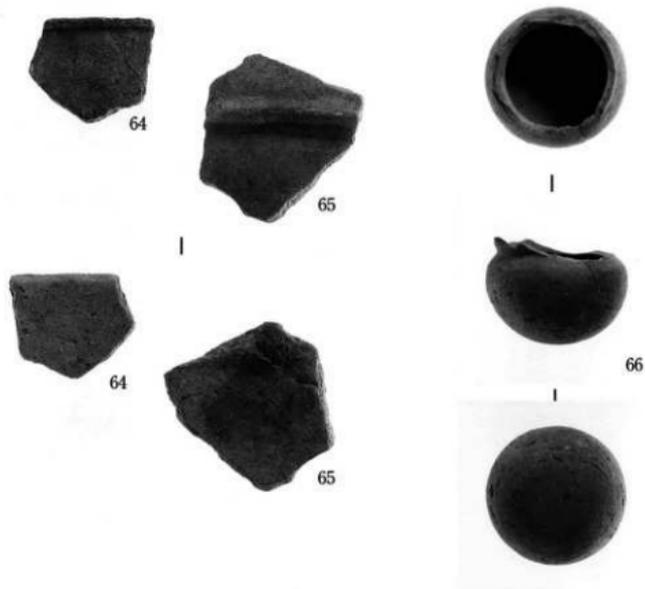
76



77



78



大塚山古墳群出土・採集遺物 (7)

報告書抄録

ふりがな	にせんじゅういち・にせんじゅうさんねんどまいごうぶんかざいはくつちょうさほうこくしょ							
書名	2011・2013年度埋蔵文化財発掘調査報告書							
副書名	川合遺跡地区 薬井試掘 大輪田・城内遺跡第2次 高山3号墳（高山塚3号古墳）第2次							
巻次								
シリーズ名	河合町文化財調査報告書							
シリーズ番号	第21集							
編著者名	古村公男							
編集機関	河合町教育委員会							
所在地	〒636-0053 奈良県北葛城郡河合町池部2-13-1 In.0745-57-2271（生涯学習課所在地）							
発行年月日	西暦 2014年3月25日							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m ²	
川合遺跡大西地区	奈良県北葛城郡河合町川合	29427	017	34 35 19	135 44 40	2012年2月13日 ～2月16日	400	緊急発掘 (個人住宅)
薬井北山地区	奈良県北葛城郡河合町薬井	29427		34 35 19	135 42 40	2012年2月13日 ～3月14日	118.00	遺跡有無確認 (造成工事に伴う試掘)
大輪田・城内遺跡	奈良県北葛城郡河合町大輪田	29427	004	34 35 26	135 43 20	2013年8月5日 ～8月7日 10月7日 ～10月9日	51.00	緊急発掘 (寺院)
高山3号墳 (高山塚3号古墳)	奈良県北葛城郡河合町穴間	29427	026	34 35 15	135 44 22	2013年10月28日 ～11月14日	38.00	緊急発掘 (個人住宅)
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
川合遺跡大西地区	遺物散布地				埴輪 須恵器 土師器 瓦 瓦器 石製品		第2次調査 町内の発掘調査で初めて 石包丁出土	
薬井北山地区	遺物散布地	古墳			須恵器 土師器 瓦 陶磁器			
大輪田・城内遺跡	遺物散布地 城跡	中世、近 世～近代	寺院基壇			土師器 瓦器 瓦 陶磁器	第2次調査	
高山3号墳 (高山塚3号古墳)	古墳	古墳時代 中期	墳丘、周溝			埴輪 須恵器 土師器 瓦器 瓦質土器 陶磁器	第2次調査	

2011・2013 年度埋蔵文化財発掘調査報告書

－河合町文化財調査報告書 第21集－

2014年3月31日

編集

河合町教育委員会

発行

奈良県北葛城郡河合町池部2-13-1

Tel 0745-57-2271

Fax 0745-57-1165

URL <http://www.town.kawai.nara.jp/>

E-mail syohgaigakusyu@town.kawai.lg.jp

印刷 株式会社 明新社
